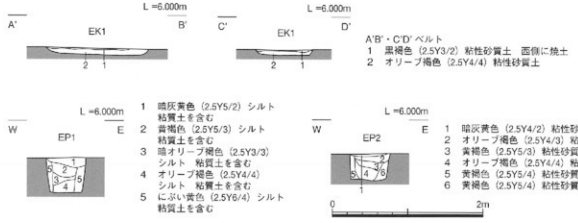
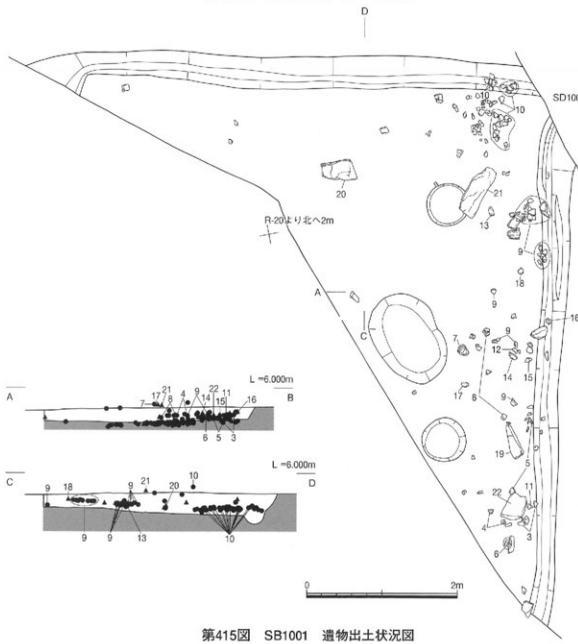
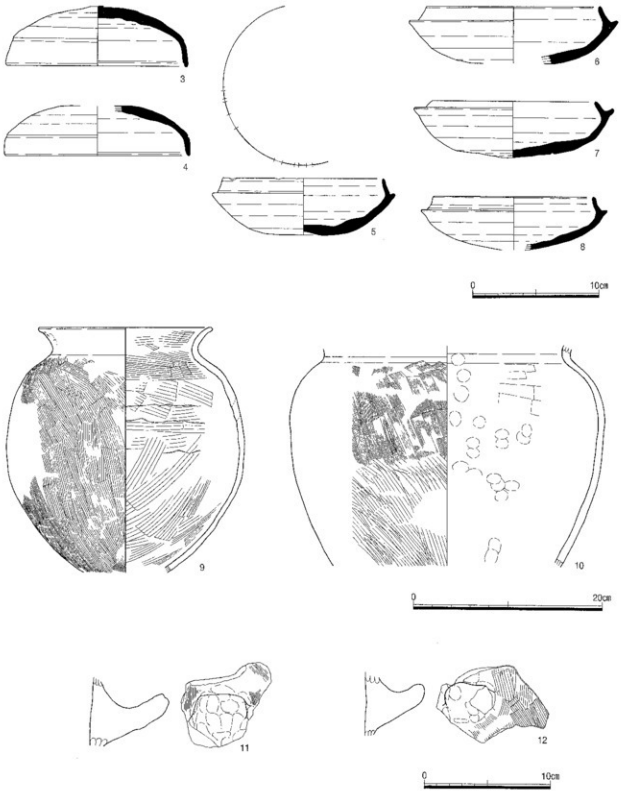


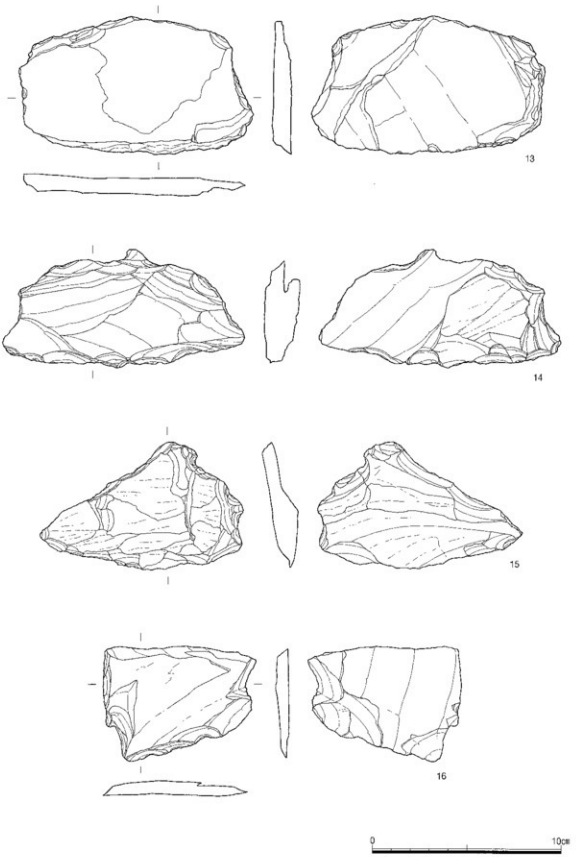
第414図　SB1001EK・EP　断面図



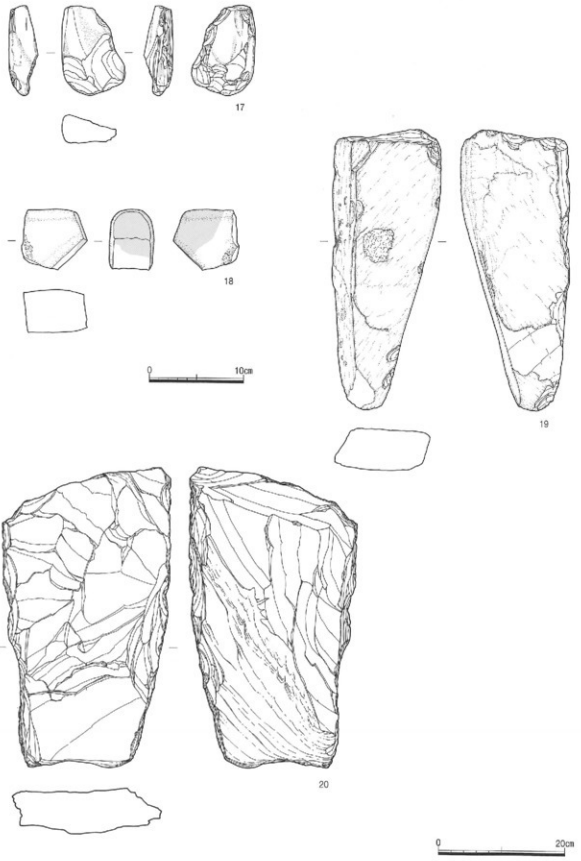
第415図　SB1001　遺物出土状況図



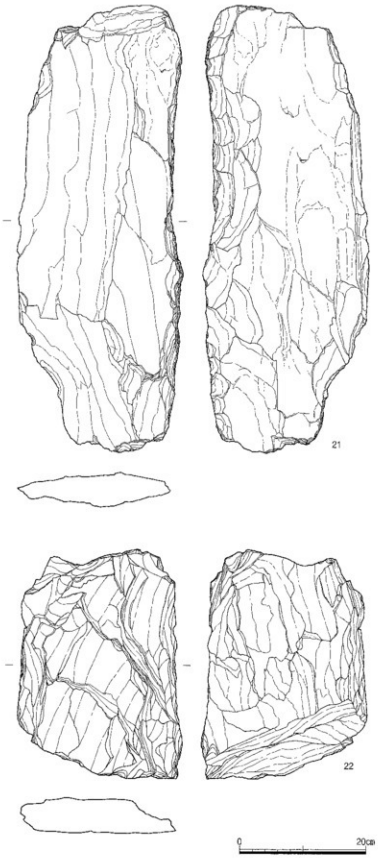
第416図　SB1001　出土遺物(1)



第417図　SB1001　出土遺物(2)



第418図　SB1001　出土遺物(3)



第419図　SB1001　出土遺物(4)

③竪穴住居

竪穴住居（SB1001）（第413～419図）

検出場所　1区　δ－Ⅳ・Q－20およびR－19、20グリッド

形態・規模　平面形状は南西部の大半が調査区外に位置するため不明だが、調査区内の2辺は直線であるため、方形であったと考えられる。長軸7.35m（残存値）×短軸7.3m（残存値）である。深度は0.29mである。

土層　オリーブ褐色、黄褐色などのシルト8層に細分した。断面図CD、GHから、床面は北へ向かって緩やかに下っている。

土坑　EK1を検出した。N23° Wを軸とした楕円形で、長軸1.24m、短軸0.85m、深度0.17mである。黒褐色、オリーブ褐色の粘性砂質土を2層に細分した。1層の西側に焼土を含む。

柱穴　柱穴2基を検出した。暗灰黄色、オリーブ褐色などの粘性砂質土を5～6層に細分した。

遺物出土状況　遺物は竪穴住居の東壁に多く分布する。遺物の大半は住居床面の直上から出土している。

出土遺物　3、4は須恵器の杯蓋である。5～8は須恵器の杯身である。5の口縁部には複数の打ち欠きが見られる。9、10は土師器の甕である。11、12は土師器の甑の把手部分である。13～16は結晶片岩の剥片の縁辺を加工した石庖丁か。17、18は砂岩製の砥石で、被熱により変色している。19は結晶片岩の台石か。中央に敲打によるくぼみがある。20～22は石核か。

時期　古墳時代後期（TK43併行期）と考えられる。

④溝状遺構

溝状遺構（SD1002）（第420～422図　付図25・26）

検出場所　1区・2区　δ－Ⅳ・Q～T－20、ε－Ⅳ・H～M－18、B～H－19、A～C－20、およびδ－Ⅴ・Q、R－1グリッド

規模・断面形態　N10° Wを軸にして、調査区内を縦断する直線状の溝である。残存する延長距離は81.20mである。最大幅1.20m、深さ0.37mを測る。断面形状は逆蒲鉾形、逆台形など多様である。

土層　11ヶ所のベルトを設定した。暗灰黄色、オリーブ褐色などのシルトを2～10層に細分した。断面形状は逆三角形、逆台形など多様である。底面の高さを見ると、南側（AB）が高く、北側（UV）が低いことから、南から北への流れと推測される。

遺物出土状況　A－20グリッドにおいて遺物が出土した。遺物は、遺構の底面と東側の傾斜に沿って出土している。

出土遺物　23は石鏃である。24はサヌカイト製のスクレイパーである。25は円石である。凹部以外にも敲打痕が残るため、敲石の可能性がある。

時期　出土した遺物で図化できたのは石器のみであるが、土器の小破片やN10° Wに沿った直線状の溝であることから、古代以降の可能性が高いと考えられる。

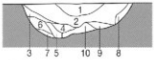
溝状遺構（SD1003）（第423～425図　付図25・26）

検出場所　1区・2区　ε－Ⅳ・M～S－18、G～N－19、C～H－20グリッド

規模・断面形態　N10° Wを軸にして、調査区内を縦断する直線状の溝である。残存する延長距離は56.40mである。最大幅1.40m、深さ0.36mを測る。断面形状は半円形および皿形である。底面の高さを

L =5.900m

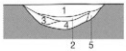
A B



1 黒褐色（2.5Y3/2）シルト
2 暗オリーブ褐色（2.5Y3/3）シルト
3 暗オリーブ褐色（2.5Y3/3）シルト
4 暗灰黄色（2.5Y4/2）シルト
5 黄灰色（2.5Y4/1）シルト
6 オリーブ褐色（2.5Y4/3）シルト
7 黄褐色（2.5Y5/3）シルト
8 オリーブ褐色（2.5Y4/3）シルト
9 黄褐色（2.5Y5/4）シルト
10 黄褐色（2.5Y5/4）シルト

L =5.900m

C D



1 暗オリーブ褐色（2.5Y3/3）シルト
2 黒褐色（2.5Y3/2）シルト
3 黒褐色（2.5Y3/1）シルト
4 暗灰黄色（2.5Y4/2）シルト
5 オリーブ褐色（2.5Y4/3）シルト

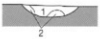
L =5.900m

E F

1 黒褐色（2.5Y3/1）シルト
2 暗オリーブ褐色（2.5Y3/3）シルト

L =5.900m

G H



1 暗灰黄色（2.5Y5/2）シルト
2 黄褐色（2.5Y5/4）シルト

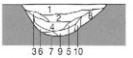
L =5.900m

I J

1 黄灰色（2.5Y4/1）シルト
2 暗灰黄色（2.5Y5/2）シルト
3 黄灰色（2.5Y5/1）シルト
4 黄灰色（2.5Y4/1）シルト
5 黄灰色（2.5Y5/1）シルト
6 黄褐色（2.5Y5/4）シルト
7 黄褐色（2.5Y5/3）シルト

L =5.900m

K L



1 暗灰黄色（2.5Y4/2）シルト
2 暗灰黄色（2.5Y4/2）シルト
3 黄褐色（2.5Y5/6）シルト
4 オリーブ褐色（2.5Y4/3）シルト
5 黄灰色（2.5Y4/1）シルト
6 黄褐色（2.5Y5/4）シルト
7 黄褐色（2.5Y5/4）シルト
8 黄褐色（2.5Y5/4）シルト
9 黄灰色（2.5Y4/1）シルト
10 黄灰色（2.5Y5/1）シルト

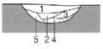
L =5.900m

M N

1 暗灰黄色（2.5Y4/2）シルト
2 暗灰黄色（2.5Y4/2）シルト
3 オリーブ褐色（2.5Y4/3）シルト
4 オリーブ褐色（2.5Y4/3）シルト
5 暗灰黄色（2.5Y4/2）シルト
6 オリーブ褐色（2.5Y4/3）シルト
7 オリーブ褐色（2.5Y4/4）シルト
8 黄褐色（2.5Y5/4）シルト
9 黄褐色（2.5Y5/4）シルト

L =5.900m

O P



1 暗灰黄色（2.5Y4/2）シルト
2 オリーブ褐色（2.5Y4/4）シルト
3 オリーブ褐色（2.5Y4/3）シルト
4 オリーブ褐色（2.5Y4/4）シルト
5 オリーブ褐色（2.5Y4/4）シルト

L =5.900m

Q R

1 暗灰黄色（2.5Y4/2）シルト
2 オリーブ褐色（2.5Y4/6）シルト
3 オリーブ褐色（2.5Y4/6）シルト

L =5.900m

S T

1 暗灰黄色（2.5Y4/2）シルト
2 黒褐色（2.5Y3/2）シルト
3 黄褐色（2.5Y5/4）シルト
4 オリーブ褐色（2.5Y4/6）シルト

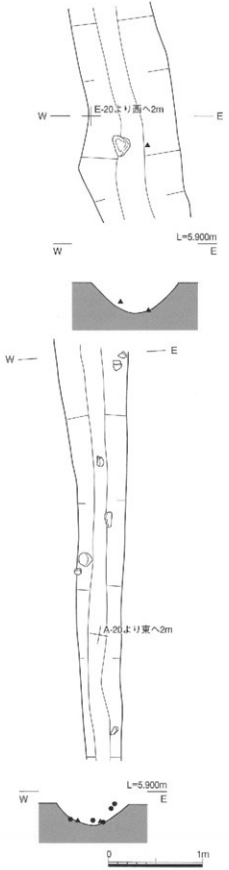
L =5.900m

U V

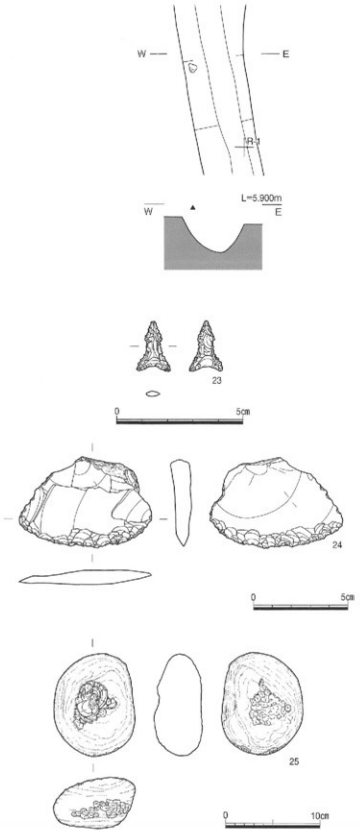
1 暗灰黄色（2.5Y4/2）シルト
2 暗灰黄色（2.5Y4/2）シルト
3 オリーブ褐色（2.5Y4/6）シルト
4 黄褐色（2.5Y5/4）シルト
5 にぶい黄色（2.5Y6/4）シルト

0 2m

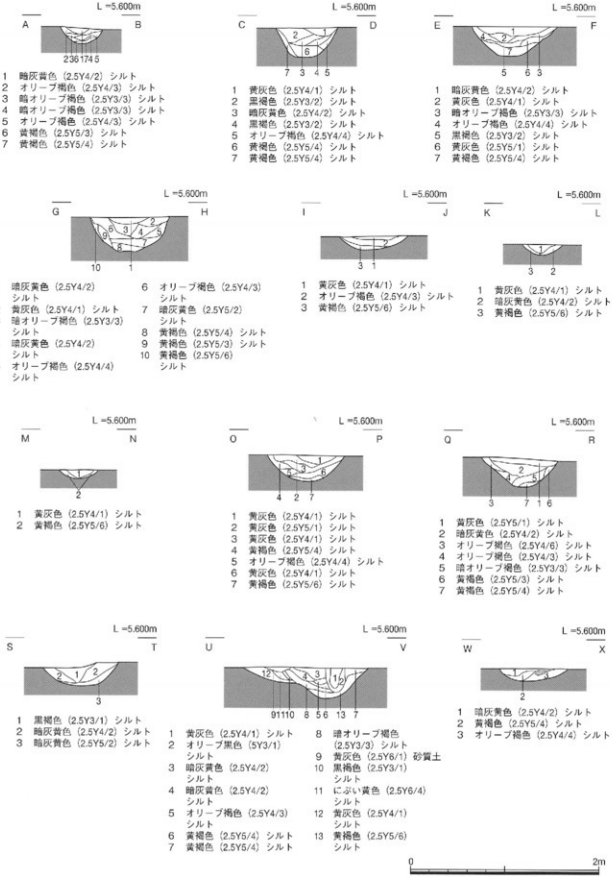
第420図　SD1002　断面図



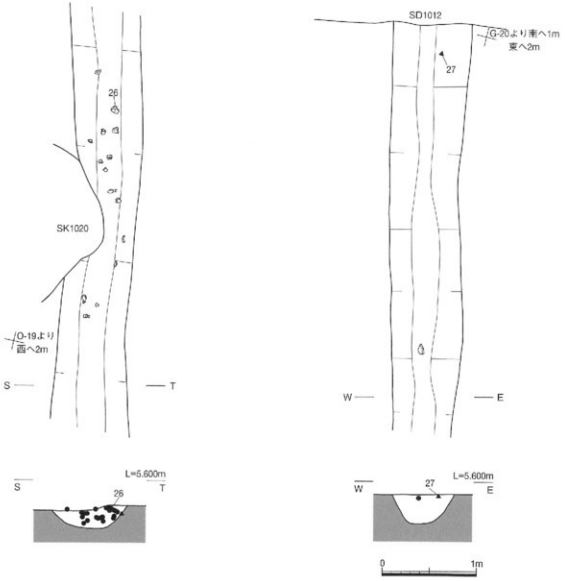
第421図　SD1002　遺物出土状況図



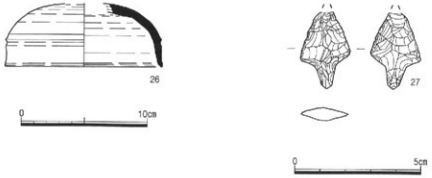
第422図　SD1002　出土遺物



第423図　SD1003　断面図



第424図　SD1003　遺物出土状況図



第425図　SD1003　出土遺物

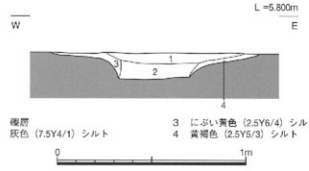
見ると、南側（AB）が高く北側（WX）が低いことから、SD1002と同様に南から北への流れと推測される。
土層　12ヶ所のベルトを設定した。暗灰黄色、黄褐色などのシルトを2～13層に細分した。
遺物出土状況　O－19グリッド周辺で遺物がまとまって出土したが、大部分は土器の小破片である。
出土遺物　26は須恵器の杯蓋である。27は石鏃である。
時期　SD1002と並行に掘られた直線状の溝であり、やはり古代以降と推測される。

溝状遺構（SD1005）（第426・427図　付図25）
検出場所　1区　δ－Ⅳ・S、T－18グリッド
規模・断面形態　N24° Wを軸にする。調査区の南西側で僅かに検出された。残存する延長距離は4.25mである。最大幅1.15m、深さ0.14mを測る。断面形状は不整形の台形である。
土層　灰色、にぶい黄色などのシルトを4層に細分した。
遺物出土状況　出土状況を図化できたものはない。
出土遺物　28は高杯の脚部である。
時期　弥生時代後期後半と考えられる。

溝状遺構（SD1008）（第428～430図　付図25）
検出場所　1区　ε－Ⅳ・E－18、19およびF－19グリッド
規模・断面形態　N73° Eを軸にするが、東端は北へ緩やかに弧を描く。残存する延長距離は11.5mである。最大幅0.6m、深さ0.22mを測る。断面形状は半円形である。底面の高さを見ると、南西側（AB）が北東側（EF）よりも低く、北東から南西への流れと推測される。
土層　暗灰黄、オリーブ褐色などのシルトを3～7層に細分した。
遺物出土状況　遺構検出面で結晶片岩の台石が出土した。
出土遺物　29は結晶片岩の台石である。
時期　不明である。

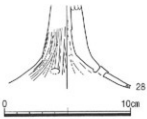
溝状遺構（SD1011）（第431・432図　付図25）
検出場所　1区　ε－Ⅳ・F－19、20グリッド
規模・断面形態　N54° Wを軸にするが、西側はSD1002と合流し、一部はSD1012に切られている。残存する延長距離は3.30mである。最大幅0.9m、深さ0.16mを測る。断面形状は半円形である。
土層　暗灰黄、オリーブ褐色などのシルトを4層に細分した。
遺物出土状況　出土状況を図化できたものはない。
出土遺物　30は土師質土器の皿である。底部に焼成前の穿孔がある。
時期　中世と考えられる。

溝状遺構（SD1020）（第433～438図　付図26）
検出場所　2区・3区　ε－Ⅳ・O～Q－18、Q～S－19、R～T－20およびα－Ⅳ・A－20グリッド
規模・断面形態　N32° Eを軸に、調査区内を横断する直線状の溝である。調査区の南西側で僅かに検

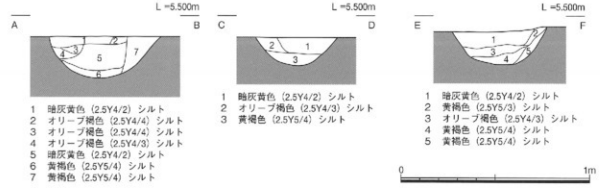


1 攪乱
2 灰色 (7.5Y4/1) シルト
3 にぶい黄色 (2.5Y6/4) シルト
4 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト

第426図 SD1005 断面図



第427図 SD1005 出土遺物

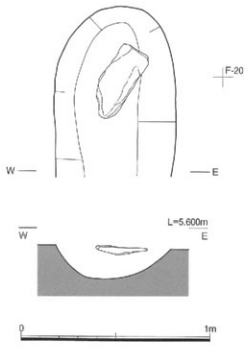


1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
3 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
4 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
5 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
6 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
7 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト

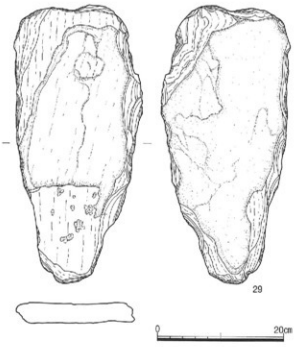
1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
3 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト

1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
2 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
3 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
4 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
5 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト

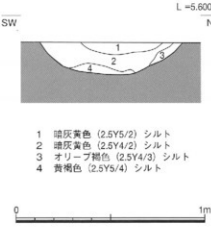
第428図 SD1008 断面図



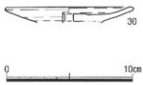
第429図 SD1008 遺物出土状況図



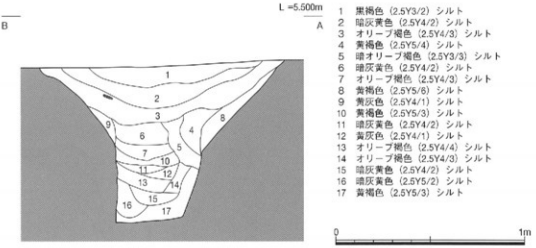
第430図 SD1008 出土遺物



第431図　SD1011　断面図



第432図　SD1011　出土遺物



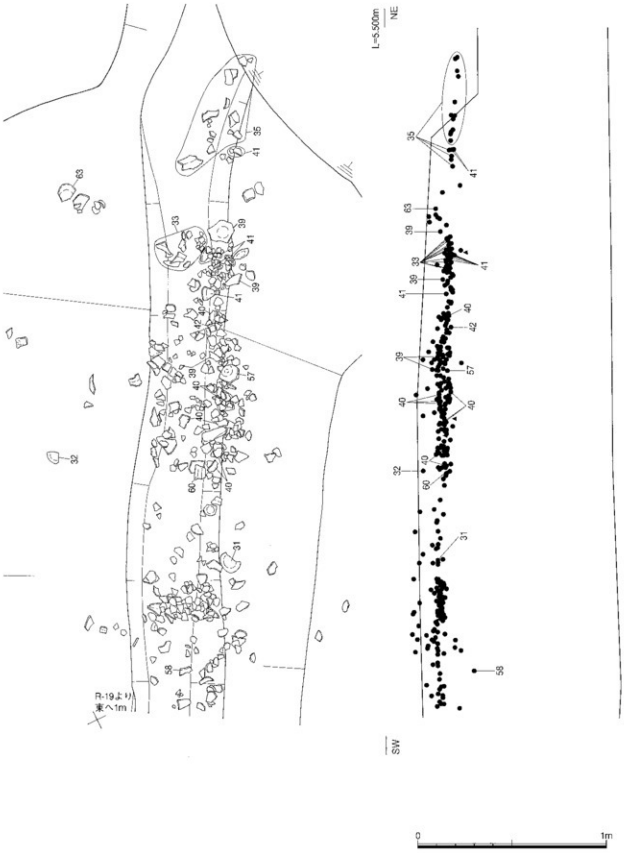
第433図　SD1020　断面図

出されたため、形状は不明。残存する延長距離は29.00mである。最大幅3.10m、深さ0.81mを測る。断面形状は上半は逆二等辺三角形であるが、底部は長方形である。

土層　黒褐色、黄褐色などのシルトを17層に細分した。

遺物出土状況　遺構の南西部であるP～R－18、19グリッドにおいて、遺物が集中して出土した。すべての遺物はSDの上層で出土しているため、SDが埋没する最終段階で遺物が混入したものと考えられる。

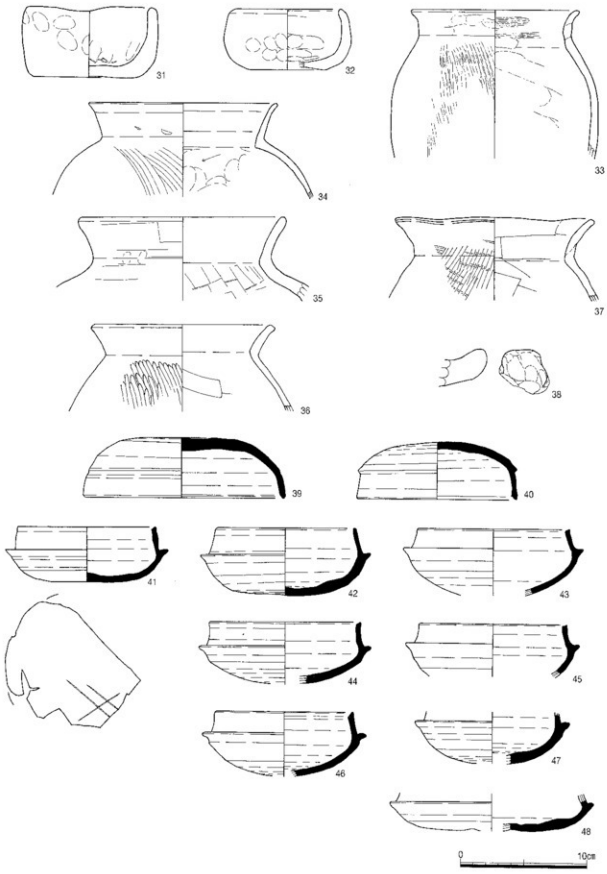
出土遺物　31、32は土師器の椀である。33～37は土師器の甕である。38は土師器の甑の把手である。39、40は須恵器の杯蓋である。41～48は須恵器の杯身である。41は底部外面に刻書がある。49は須恵



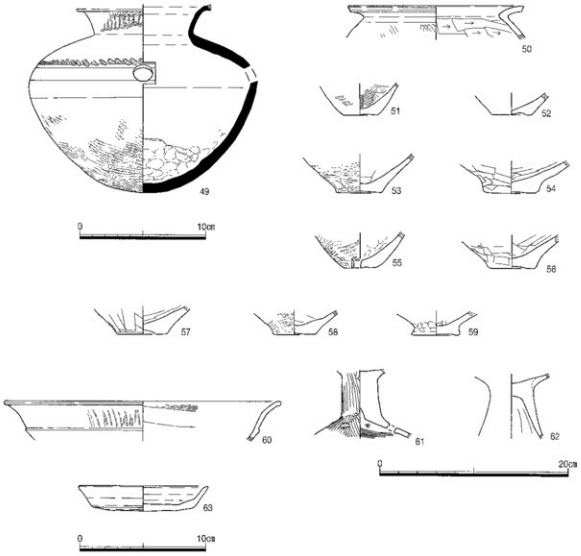
第434図　SD1020　遺物出土状況図(1)

第435図　SD1020　遺物出土状況図(2)

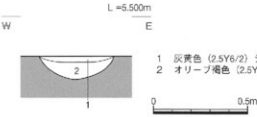
第436図　SD1020　遺物出土状況図(3)



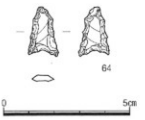
第437図　SD1020　出土遺物(1)



第438図　SD1020　出土遺物(2)



第439図　SD1022　断面図



第440図　SD1022　出土遺物

器の蓋である。須恵器の杯身は概ね口径が11～12cm、器高が4～5cmで、口径に比べて器高が高い。杯蓋の外面に明瞭な突線状の稜が巡ることから、TK23～TK47型式に併行すると考えられる。50～52は弥生土器の甕である。53～59は弥生土器の鉢である。60～62は弥生土器の高杯である。63は土師器の杯である。

時期　弥生時代後期から古墳時代後期初頭（TK47併行期）であるが、一部に9世紀代の遺物を含む。遺物出土状況図（第434～436図）を見ると、古墳時代後期の遺物はQ・R－19グリッドに分布し、弥生時代後期の遺物は西側のQ－18・19グリッドに分布することがわかる。

溝状遺構（SD1022）（第439・440図　付図26）

検出場所　2区　ε－Ⅳ・R、S－18グリッド

規模・断面形態　N11°Eを軸に、SD1003から分岐した直線状の溝である。残存する延長距離は5.95mである。最大幅0.45m、深さ0.12mを測る。断面形状は半円形である。

土層　灰黄色、オリーブ褐色のシルトを2層に細分した。

遺物出土状況　出土状況を図化できたものはない。

出土遺物　64は石鏃である。

時期　弥生時代の可能性が高い。

溝状遺構（SD1024）（第441～443図　付図26）

検出場所　2区・3区　α－Ⅳ・A－18～20グリッド

規模・断面形態　N80°Eを軸に、調査区を横断する直線状の溝である。残存する延長距離は10.40mである。最大幅1.00m、深さ0.21mを測る。断面形状は半楕円形である。

土層　オリーブ褐色、暗灰黄色などのシルトを4層に細分した。

遺物出土状況　遺物は溝の底面と遺構検出面において出土した。

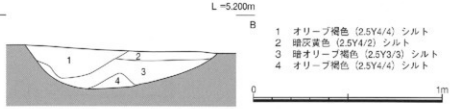
出土遺物　65は土師器の甑の把手である。

時期　古墳時代から古代の可能性が高い。

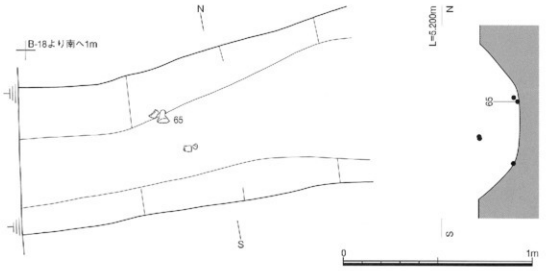
⑤柵列

柵列（SG1001）（第444図）

検出場所　2区　ε－Ⅳ・K、L－19グリッド



第441図　SD1024　断面図

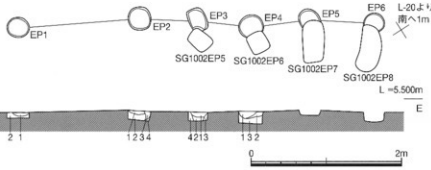


第442図　SD1024　遺物出土状況図

形態・規模　N58° W を軸に4.90mに渡って６基の柱穴で構成される。
土層　各柱穴の堆積は暗灰黄色、オリーブ褐色などのシルトで、粘質土を含む。２～４層に細分した。
遺物出土状況　出土状況を図化できたものはない。
出土遺物　図化できる遺物は出土していない。
時期　不明である。

第443図　SD1024　出土遺物

柵列（SG1002）（第445・446図）
検出場所　２区　ε－Ⅳ・Ｋ－19、Ｌ－18、19グリッド
形態・規模　N57° W を軸に7.15mに渡って８基の柱穴で構成される。
土層　各柱穴の堆積は暗灰黄色、黄褐色などのシルトで、粘質土を含む。３～４層に細分した。
遺物出土状況　出土状況を図化できたものはない。
出土遺物　66は鉄製品の釘である。
時期　不明である。



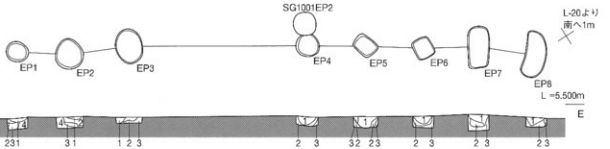
EP1
1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土
2 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む

EP2
1 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む
3 にぶい黄色 (2.5Y6/4) シルト 粘質土を含む
4 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む

EP3
1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト 粘質土を含む
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
3 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む
4 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む

EP4
1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト 粘質土を含む
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
3 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む

第444図 SG1001 平・断面図



EP1
1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土
2 にぶい黄色 (2.5Y6/3) シルト 粘質土を含む
3 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む
4 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む

EP2
1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
3 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む
4 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む

EP3
1 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む
2 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土 マンガン粒を含む
3 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む

EP4
1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト 粘質土を含む
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
3 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む

EP5
1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト 粘質土を含む
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
3 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む

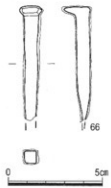
EP6
1 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト 粘質土を含む
2 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト 粘質土を含む
3 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む

EP7
1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト 粘質土を含む
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む
3 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む

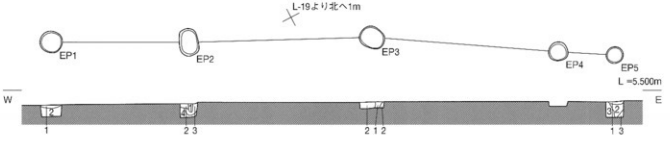
EP8
1 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト 粘質土を含む
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
3 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む

0 2m

第445図 SG1002 平・断面図



第446図 SG1002EP1 出土遺物



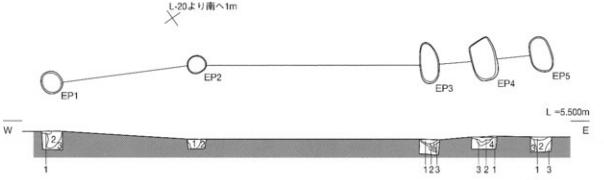
EP1
1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土 マンガン粒を多量に含む
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む

EP2
1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む
3 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む
4 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む

EP3
1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 粘質土
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む

EP4
1 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む
2 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む
3 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む

第447図 SG1003 平・断面図



EP1
1 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト 粘質土を含む
2 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む
3 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む

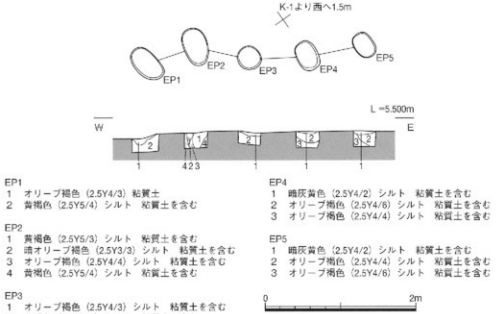
EP2
1 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む
2 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む

EP3
1 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト 粘質土を含む
2 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト 粘質土を含む
3 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト 粘質土を含む
4 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む

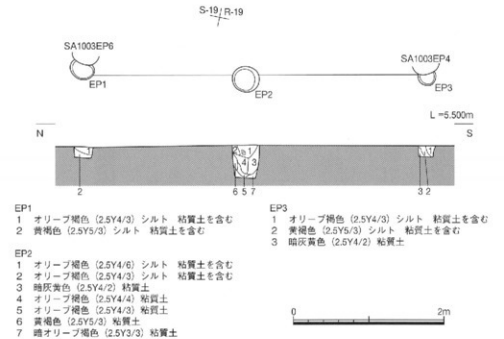
EP4
1 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト 粘質土を含む
2 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト 粘質土を含む
3 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト 粘質土を含む
4 にぶい黄色 (2.5Y6/4) シルト 粘質土を含む

EP5
1 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト 粘質土を含む
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト 粘質土を含む
3 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト 粘質土を含む

第448図 SG1004 平・断面図



第449図　SG1005　平・断面図



第450図　SG1006　平・断面図

櫓列（SG1003）（第447図）

検出場所　2区　ε－Ⅳ・K－19、L－18、19グリッド

形態・規模　N61° Wを軸に7.70mに渡って5基の柱穴で構成される。

土層　各柱穴の堆積は暗灰黄色、オリーブ褐色などの粘質土または粘質土を含むシルトで、2～4層に細分した。

遺物出土状況　出土状況を図化できたものはない。

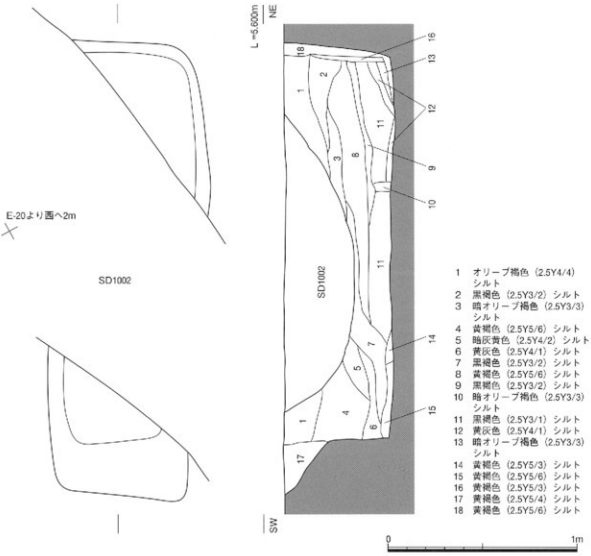
出土遺物　図化できる遺物は出土していない。
時期　不明である。

柵列（SG1004）（第448図）
検出場所　2区　ε－Ⅳ・K－19、20グリッド
形態・規模　N57° Wを軸に6.75mに渡って5基の柱穴で構成される。
土層　各柱穴の堆積は黒褐色、黄褐色などのシルトで、粘質土を含む。2～4層に細分した。
遺物出土状況　出土状況を図化できたものはない。
出土遺物　図化できる遺物は出土していない。
時期　不明である。

柵列（SG1005）（第449図）
検出場所　2区　ε－Ⅳ・J、K－20グリッド
形態・規模　N58° Wを軸に3.20mに渡って5基の柱穴で構成される。
土層　各柱穴の堆積はオリーブ褐色、黄褐色などの粘質土または粘質土を含むシルトで、2～4層に細分した。
遺物出土状況　出土状況を図化できたものはない。
出土遺物　図化できる遺物は出土していない。
時期　不明である。

柵列（SG1006）（第450図）
検出場所　2区　ε－Ⅳ・R、S－18グリッド
形態・規模　N12° Wを軸に4.85mに渡って3基の柱穴で構成される。SA1001の西壁にそって構築される。
土層　各柱穴の堆積はオリーブ褐色、黄褐色などの粘質土または粘質土を含むシルトで、2～7層に細分される。
遺物出土状況　出土状況を図化できたものはない。
出土遺物　図化できる遺物は出土していない。
時期　不明である。

⑥土坑
土坑（SK1006）（第451図）
検出場所　1区　ε－Ⅳ・D、E－19グリッド
形態・規模　平面形状は、N29° Eに長軸をもつ隅丸長方形で、中央をSD1002に切られている。長軸2.40m×短軸0.70m、深度は0.59mである。
土層　黒褐色、黄褐色などのシルトを18層に細分した。
遺物出土状況　出土状況を図化できたものはない。
出土遺物　図化できる遺物は出土していない。
時期　本遺跡の他の類例からみて、古墳時代後期から古代の可能性が高い。



第451図　SK1006　平・断面図

土坑（SK1013）（第452・453図）

検出場所　2区　ε－Ⅳ・Ⅰ－18、19グリッド

形態・規模　平面形状は、N83° Eに長軸をもつ不整楕円形である。長軸3.20m×短軸1.41m、深度は0.12mである。

土層　暗灰黄色、黒褐色、にぶい黄色の粘性砂質土を3層に細分した。

遺物出土状況　出土状況を図化できたものはない。

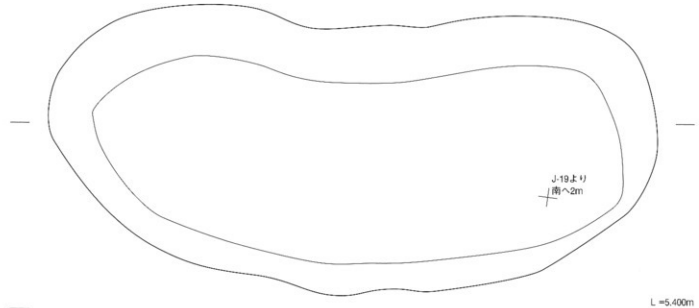
出土遺物　67は須恵器の杯身である。

時期　古墳時代後期と考えられる。

土坑（SK1020）（第454・455図）

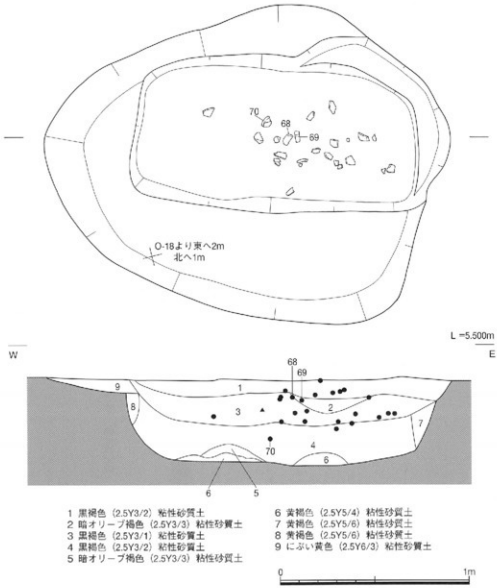
検出場所　2区　ε－Ⅳ・O－18グリッド

形態・規模　平面形状は、N69° Wに長軸をもつ不整楕円形で、底面の北半に東西方向を長軸とした長

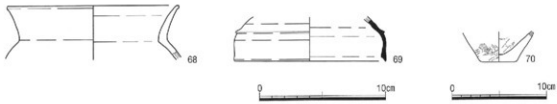


第452図　SK1013　平・断面図

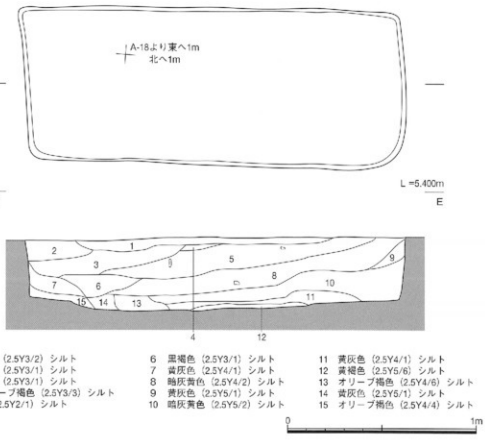
第453図　SK1013　出土遺物



第454図　SK1020　遺物出土状況図・断面図



第455図　SK1020　出土遺物



第456図　SK1026　平・断面図

方形を呈する深い部分がある。長軸2.13m×短軸1.65m、深度は0.45mである。

土層　黒褐色、暗オリーブ褐色などの粘性砂質土を9層に細分した。

遺物出土状況　遺物は長方形の部分から出土している。断面図を見ると、遺構の上層に大部分の遺物が分布する。

出土遺物　68は土師器の甕の口縁部である。69は須恵器の杯蓋である。70は弥生土器の甕の底部小破片である。

時期　古墳時代後期と考えられる。

第457図　SK1026　出土遺物

土坑（SK1026）（第456・457図）

検出場所　2区　α－Ⅳ・A－18グリッド

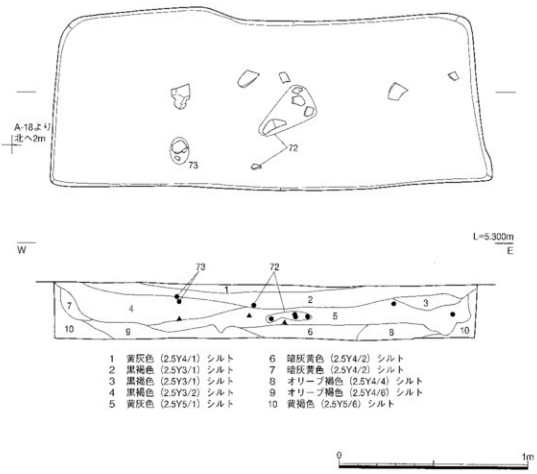
形態・規模　平面形状は、N88°Eに長軸をもつ長方形である。長軸2.00m×短軸0.83m、深度は0.39mである。

土層　黒褐色、暗オリーブ褐色などのシルトを15層に細分した。

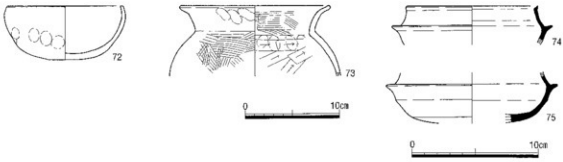
遺物出土状況　出土状況を図化できたものはない。

出土遺物　71は須恵器の甕の口縁部小破片である。

時期　古墳時代後期と考えられる。



第458図　SK1027　遺物出土状況図・断面図



第459図　SK1027　出土遺物

土坑（SK1027）（第458・459図）

検出場所　2区　α－Ⅳ・A－18グリッド

形態・規模　平面形状は、N88° Eに長軸をもつ長方形である。長軸2.23m×短軸0.95m、深度は0.30mである。SK1027と並行に掘られ、対をなしている。

土層　黄灰色、黒褐色などのシルトを10層に細分した。

遺物出土状況　遺物は遺構の中央部から東にかけて出土した。断面図によると、中層の4～5層に集中する。

出土遺物　72は土師器の椀である。73は土師器の甕である。74、75は須恵器の杯身である。

時期　古墳時代後期（TK47併行期）と考えられる。

⑦柱穴

柱穴（SP1030）（第460・461図）

検出場所　2区　α－Ⅳ・M－19グリッド

形態・規模　平面形状は、ほぼ円形である。長軸0.26m×短軸0.25m、深度は0.09mである。

土層　粘質土を含む黄褐色のシルトを2層に細分した。

遺物出土状況　出土状況を図化できたものはない。

出土遺物　76は鉄製品の釘である。

時期　不明である。

柱穴（SP1049）（第462・463図）

検出場所　2区　α－Ⅳ・S－18グリッド

形態・規模　平面形状は、東西方向に長軸をもつ楕円形である。長軸0.38m×短軸0.36m、深度は0.33mである。

土層　黒褐色、暗オリーブ褐色などのシルトで、粘質土を含む。5層に細分した。

遺物出土状況　出土状況を図化できたものはない。

出土遺物　77は砥石である。

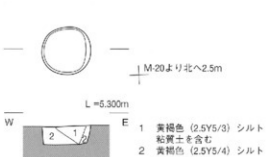
時期　不明である。

⑧自然流路

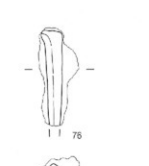
自然流路（SR1002）（第464～475図・付図25・27）

検出場所　1区　δ－Ⅳ・S－18、19、20、T－19、20、ε－Ⅳ・A－19、20、B－20、ε－Ⅴ・A、B－1グリッド

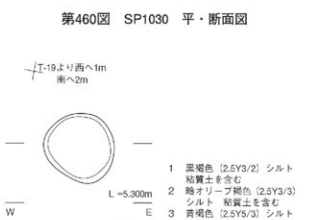
形態・規模　N40° Eを軸に南西から北東方向へ延びる自然流路である。残存する延長距離は18.00mで、最大幅5.10m、深さ1.20mを測る。断面形状は逆三角形および逆蒲鉾形である。断面図によると、底面の高さは南西側（AB）が北東側（EF）より僅かに低くなっており、北東から南西への流れであったと推測される。SRとしたが、眉山から北へ延びる埋没尾根上を横切るように掘削されており、人工的に掘られた溝状遺構の可能性が高い。環濠としての機能も想定される。また、遺構内で柱穴（EP）8基を検出した。



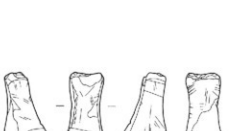
第460図　SP1030　平・断面図



第461図　SP1030　出土遺物



第462図　SP1049　平・断面図



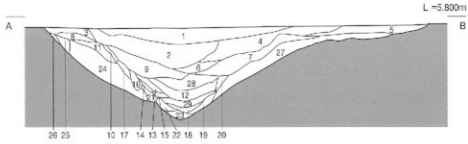
第463図　SP1049　出土遺物

土層　黒褐色、オリーブ褐色のシルト、黒褐色、黄灰色の粗砂層など38層に細分した。遺構内柱穴（EP）はEP 1～3において、にぶい黄褐色、暗褐色などの粘質土を含むシルトを2～3層に細分した。

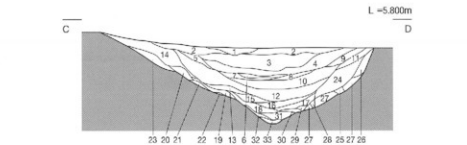
遺物出土状況　SR1002は広範囲から多量の遺物が出土したため、北東部からA～Dに区分して取り上げた。AはSR1002の北東部の北岸に近い位置に集中して分布する。Bは流路の中央部から北側にかけて、やや散漫に分布する。C、DはSR1002の中央部に帯状に集中する。垂直分布からは、Aでは上層にまとまって分布するが、Bでは上層出土の一群とは別に、下層にまとまりが見える。Cでは中層に大部分が分布し、下層と上層に散漫な分布がある。DではCと同様に中層での分布が密であり、上層に散漫な分布が見られ、下層の一部にも密な部分がある。大半の遺物は、上層から出土した弥生時代後期後半のものであるが、最下層では弥生時代中期後半の土器も見られる。

出土遺物　78～86は、Aの範囲から出土した遺物である。78～80は壺である。81は甕である。82は高杯の脚部である。83は結晶片岩製の打製石庖丁である。84～86は敲石である。86は両側面に敲打痕、表面に擦痕が残るが、裏面は割れている。

87～126は、Bから出土した遺物である。87～95は壺である。96～111は甕である。112は鉢の底部



1 黒色 (2.5Y2/1) シルト
2 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
3 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト
4 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
5 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト
6 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
7 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
8 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト
9 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト
10 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
11 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
12 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
13 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
14 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
15 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
16 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
17 黄灰色 (2.5Y6/1) シルト
18 黒褐色 (2.5Y3/1) 粗砂
19 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
20 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
21 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
22 黄灰色 (2.5Y4/1) 粗砂
23 黒褐色 (2.5Y3/2) 粗砂
24 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト
25 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
26 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
27 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
28 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
29 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) 細砂



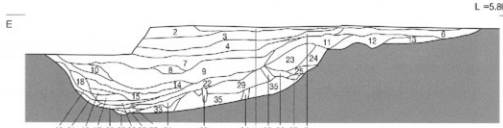
1 黒色 (2.5Y2/1) シルト
2 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト
3 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
4 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
5 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
6 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
7 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) シルト
8 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト
9 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
10 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
11 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
12 オリーブ褐色 (2.5Y4/6) シルト
13 黄褐色 (2.5Y5/3) 粘質土
14 オリーブ褐色 (2.5Y4/6) シルト
15 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘質土
16 にぶい黄色 (2.5Y6/3) 粘質土
17 灰黄色 (2.5Y6/2) 粘質土
18 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) 粘質土
19 暗灰黄色 (2.5Y5/2) 粘質土
20 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト
21 にぶい黄色 (2.5Y6/4) 粘土
22 にぶい黄色 (2.5Y6/4) 粘土
23 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト
24 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
25 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
26 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
27 にぶい黄色 (2.5Y6/4) 粘土
28 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
29 にぶい黄色 (2.5Y6/3) 粘土
30 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
31 暗オリーブ褐色 (2.5Y3/3) 細砂
32 灰黄色 (2.5Y6/2) 粘土
33 黄灰色 (2.5Y4/1) 細砂

第464図　SR1002　断面図(1)

破片である。113～122は高杯である。122は高台部外面に線刻がある。123は磨製石庖丁である。124は石杵である。下部に朱が付着する。125、126は須恵器の杯身である。

127～184は、Cから出土した遺物である。127～140は壺である。141～155は甕である。156～158は鉢である。159～176は高杯である。177、178は石錘である。179は打製石庖丁である。180は磨製石斧である。181は砥石である。182、183は敲石である。184は土師器の甑の把手である。

185～195は、Dから出土した遺物である。185～189は壺である。190は甕の口縁部である。191は鉢



1 攪乱
2 黒褐色 (2.5Y3/1) シルト
3 黒色 (2.5Y2/1) シルト
4 黒褐色 (2.5Y3/2) シルト
5 黄灰色 (2.5Y4/1) シルト
6 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
7 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
8 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト
9 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
10 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
11 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
12 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
13 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト
14 にぶい黄色 (2.5Y6/3) 粘土
15 黄褐色 (2.5Y5/3) 粘質土
16 灰黄色 (2.5Y6/2) 粘土
17 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
18 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
19 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
20 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルト
21 オリーブ褐色 (2.5Y4/6) シルト
22 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) 砂質土
23 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
24 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト
25 明黄褐色 (2.5Y6/6) 粘土
26 オリーブ褐色 (2.5Y4/3) シルト
27 黄灰色 (2.5Y5/1) 細砂
28 オリーブ褐色 (2.5Y4/4) シルト
29 黄褐色 (2.5Y5/3) シルト
30 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
31 暗灰黄色 (2.5Y4/2) 細砂
32 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト
33 黄褐色 (2.5Y5/6) シルト
34 暗灰黄色 (2.5Y4/2) シルト
35 にぶい黄色 (2.5Y6/3) 粘土
36 黄灰色 (2.5Y4/1) 細砂
37 黄褐色 (2.5Y5/4) 粘質土
38 黄灰色 (2.5Y4/1) 細砂

0 2m

第465図　SR1002　断面図(2)

1 暗褐色 (10YR3/4) シルト 粘質土を含む
2 褐色 (10YR4/4) シルト 粘質土を含む
3 にぶい黄褐色 (10YR5/4) シルト 粘質土を含む

1 にぶい黄褐色 (10YR4/3) シルト 粘質土を含む
2 暗褐色 (10YR3/3) シルト 粘質土を含む
3 にぶい黄褐色 (10YR5/4) シルト 粘質土を含む

1 にぶい黄褐色 (10YR5/4) シルト 粘質土を含む
2 にぶい黄褐色 (10YR4/3) シルト 粘質土を含む

第466図　SR1002EP　断面図

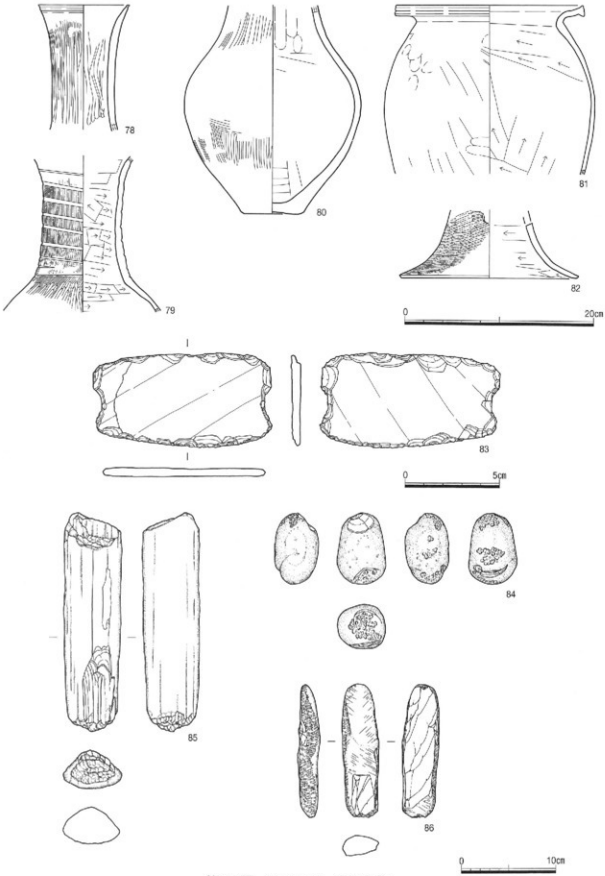
である。192～194は高杯である。195は土錘である。

時期　弥生時代中期後半から古墳時代前期初頭と考えられる。

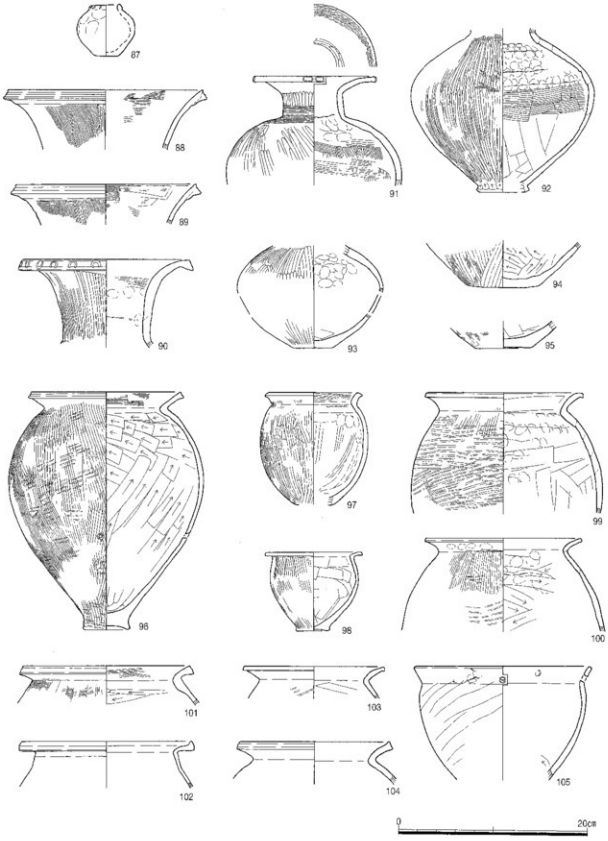
自然流路（SR1004）（第476～480図・付図26）

検出場所　2区・3区　α－Ⅳ・A～C－17～19およびB－20グリッド

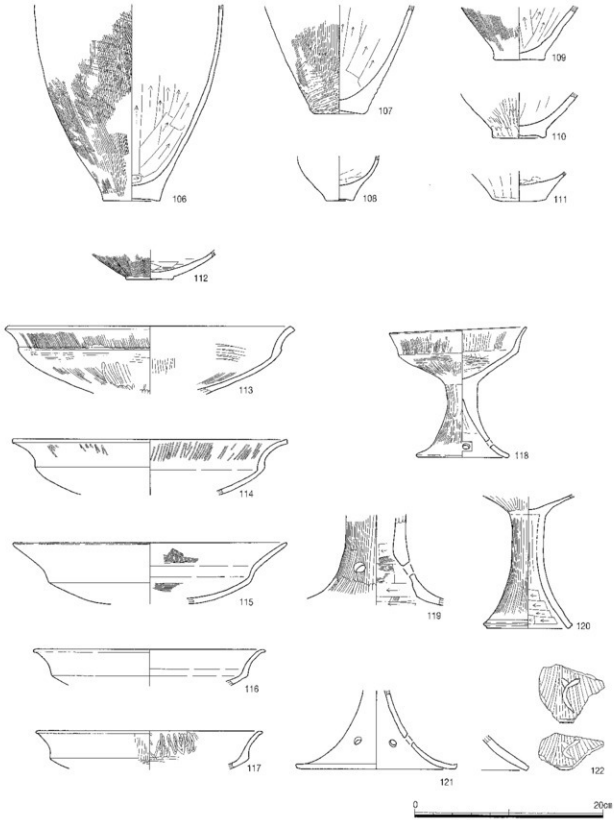
形態・規模　調査区の北側を東西に延びる自然流路で、大部分が調査区外に位置するため、平面形状は不明。残存する延長距離は9.40mで、最大幅7.20m、深さ1.15mを測る。断面形状は北側が調査区外に



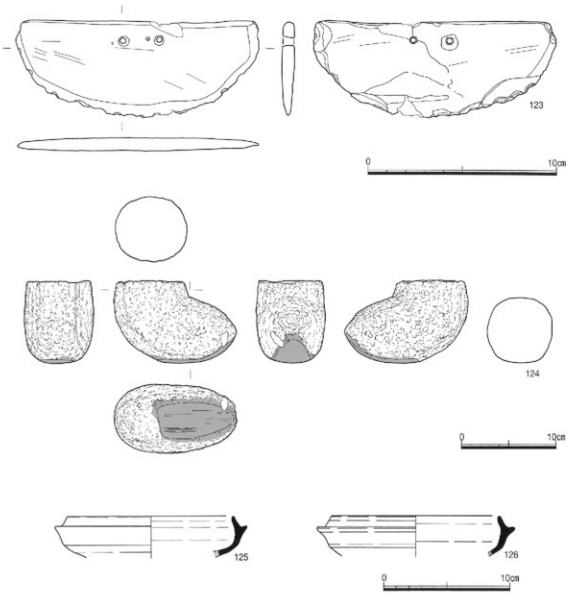
第467図　SR1002A　出土遺物



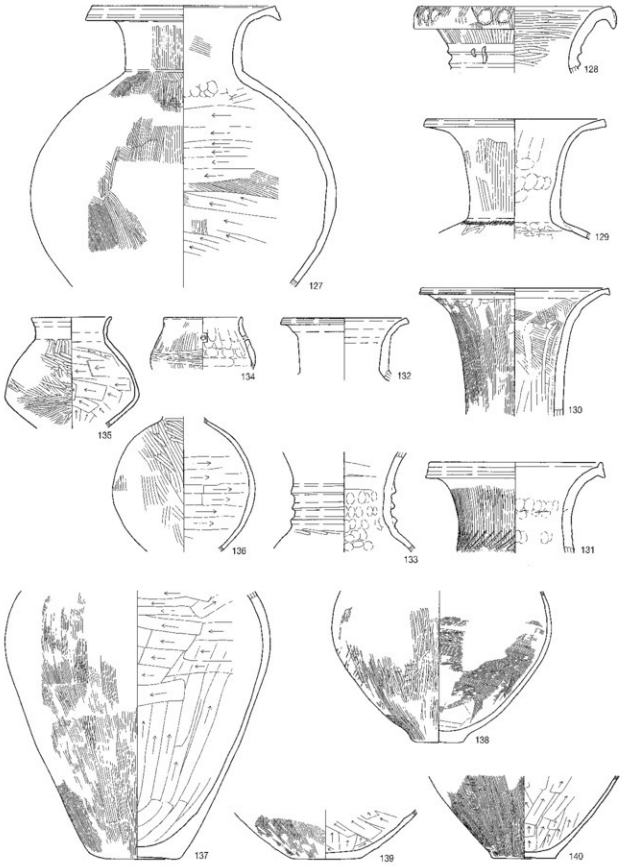
第468図　SR1002B　出土遺物(1)



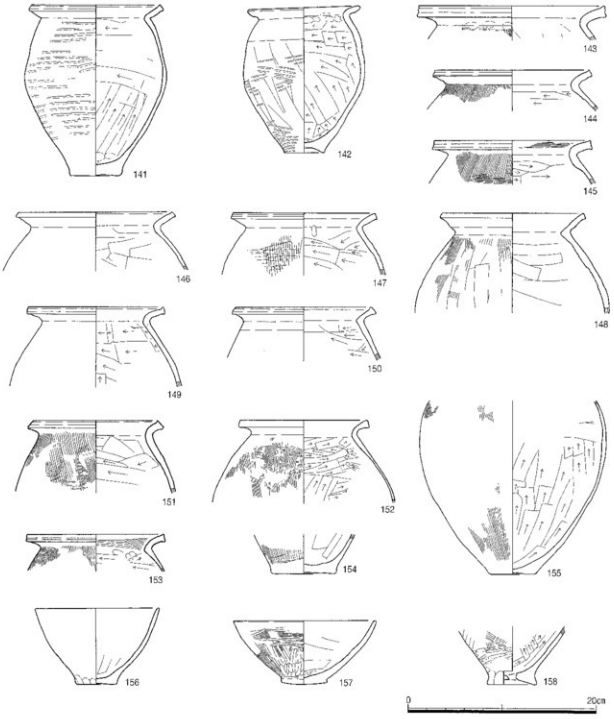
第469図　SR1002B　出土遺物(2)



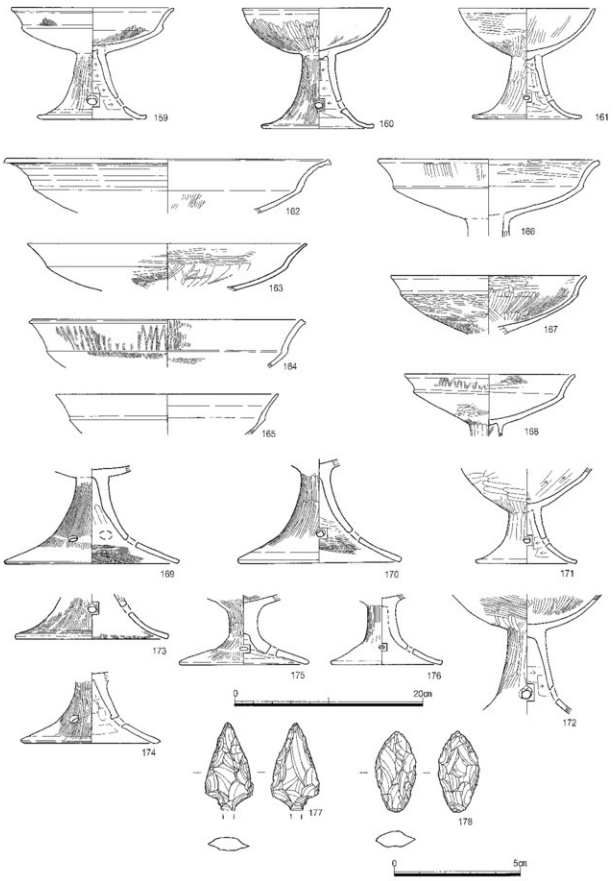
第470図　SR1002B　出土遺物(3)



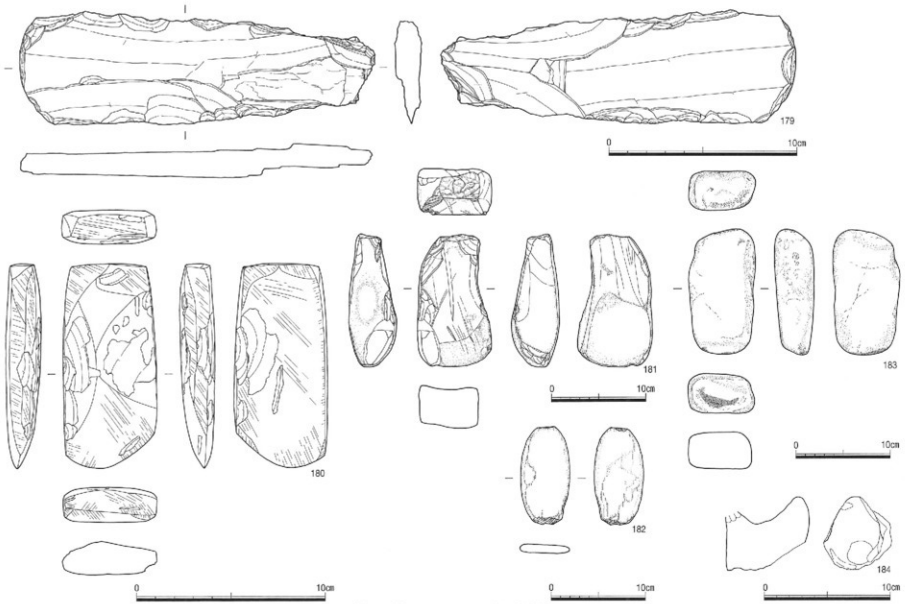
第471図　SR1002C　出土遺物(1)



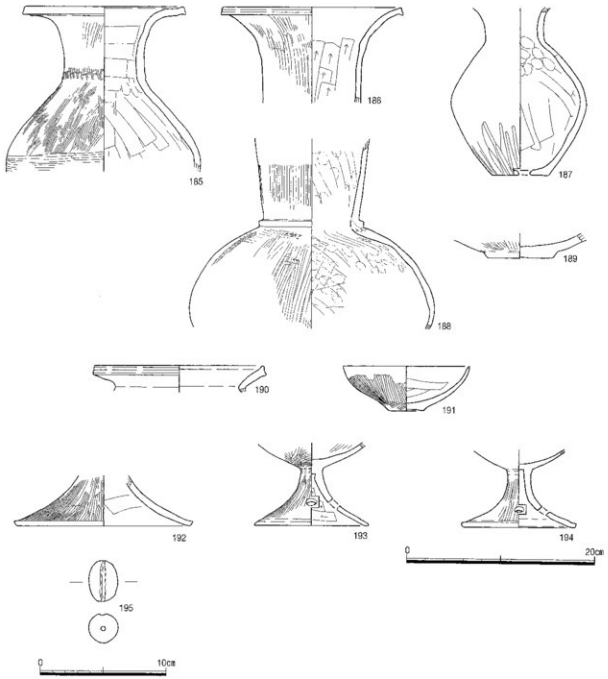
第472図　SR1002C　出土遺物(2)



第473図　SR1002C　出土遺物(3)



第474図　SR1002C　出土遺物(4)

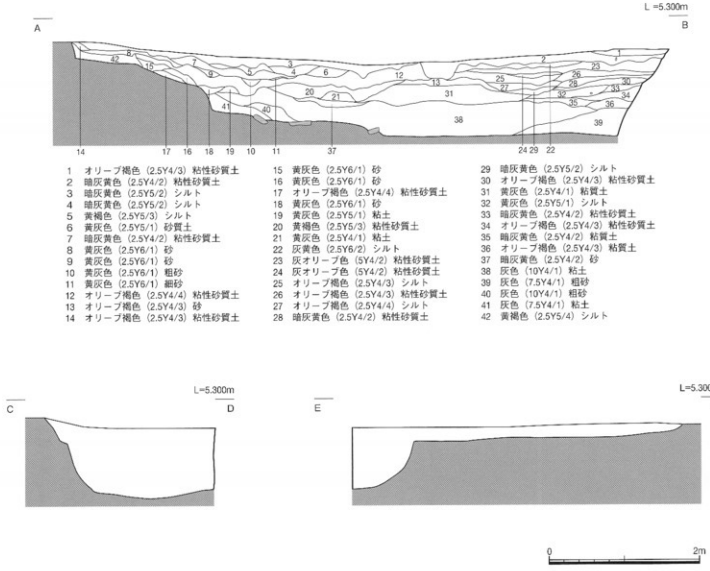


第475図　SR1002D　出土遺物

位置するため不明だが、南側は緩やかな下り斜面の途中に段を形成する。

土層　オリーブ褐色、暗灰黄色などのシルト、粘性砂質土。黄灰色の砂、粗砂などを42層に細分した。基本的にはシルトと粘性砂質土層に砂、粗砂層が部分的に入る。

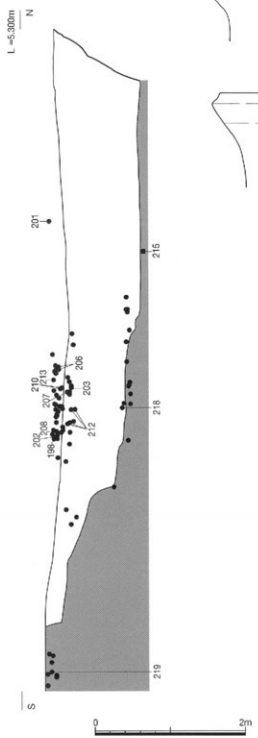
遺物出土状況　南岸斜面と流路底面の平坦面の間の傾斜変換点部分に、結晶片岩の集石が見られる。調査区内の状況から、集石は南東側へ拡がっていると推測される。流路の中央に近い集石北側では木製祭祀具、板材などが出土している。遺物の垂直分布図を見ると、遺物の大半は自然流路の検出面の上下に集中しており、流路が埋没する最終段階の遺物と考えられるが、集石と同じ高さにおいても遺物の分布



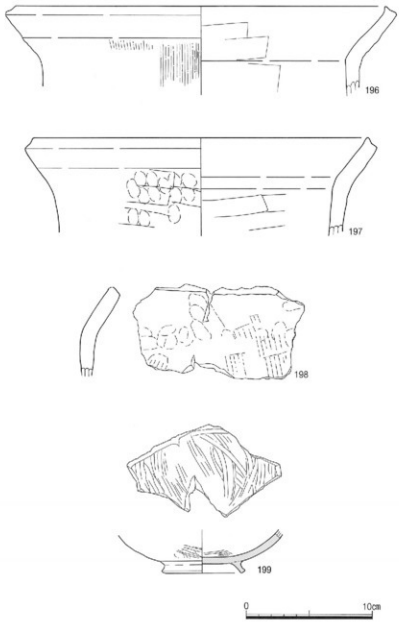
1 オリーブ褐色（2.5Y4/3）粘性砂質土
2 暗灰黄色（2.5Y4/2）粘性砂質土
3 暗灰黄色（2.5Y5/2）シルト
4 暗灰黄色（2.5Y5/2）シルト
5 黄褐色（2.5Y5/3）シルト
6 黄灰色（2.5Y5/1）砂質土
7 暗灰黄色（2.5Y4/2）粘性砂質土
8 黄灰色（2.5Y6/1）砂
9 黄灰色（2.5Y6/1）砂
10 黄灰色（2.5Y6/1）粗砂
11 黄灰色（2.5Y6/1）細砂
12 オリーブ褐色（2.5Y4/4）粘性砂質土
13 オリーブ褐色（2.5Y4/3）砂
14 オリーブ褐色（2.5Y4/3）粘性砂質土
15 黄灰色（2.5Y6/1）砂
16 黄灰色（2.5Y6/1）砂
17 オリーブ褐色（2.5Y4/4）粘性砂質土
18 黄灰色（2.5Y6/1）砂
19 黄灰色（2.5Y5/1）粘土
20 黄褐色（2.5Y5/3）粘性砂質土
21 黄灰色（2.5Y4/1）粘土
22 灰黄色（2.5Y6/2）シルト
23 灰オリーブ色（5Y4/2）粘性砂質土
24 灰オリーブ色（5Y4/2）粘性砂質土
25 オリーブ褐色（2.5Y4/3）シルト
26 オリーブ褐色（2.5Y4/3）粘性砂質土
27 オリーブ褐色（2.5Y4/4）シルト
28 暗灰黄色（2.5Y4/2）粘性砂質土
29 暗灰黄色（2.5Y5/2）シルト
30 オリーブ褐色（2.5Y4/3）粘性砂質土
31 黄灰色（2.5Y4/1）粘質土
32 黄灰色（2.5Y5/1）シルト
33 暗灰黄色（2.5Y4/2）粘性砂質土
34 オリーブ褐色（2.5Y4/3）粘性砂質土
35 暗灰黄色（2.5Y4/2）粘質土
36 オリーブ褐色（2.5Y4/3）粘質土
37 暗灰黄色（2.5Y4/2）砂
38 灰色（10Y4/1）粘土
39 灰色（7.5Y4/1）粗砂
40 灰色（10Y4/1）粗砂
41 灰色（7.5Y4/1）粘土
42 黄褐色（2.5Y5/4）シルト

第476図　SR1004　断面図

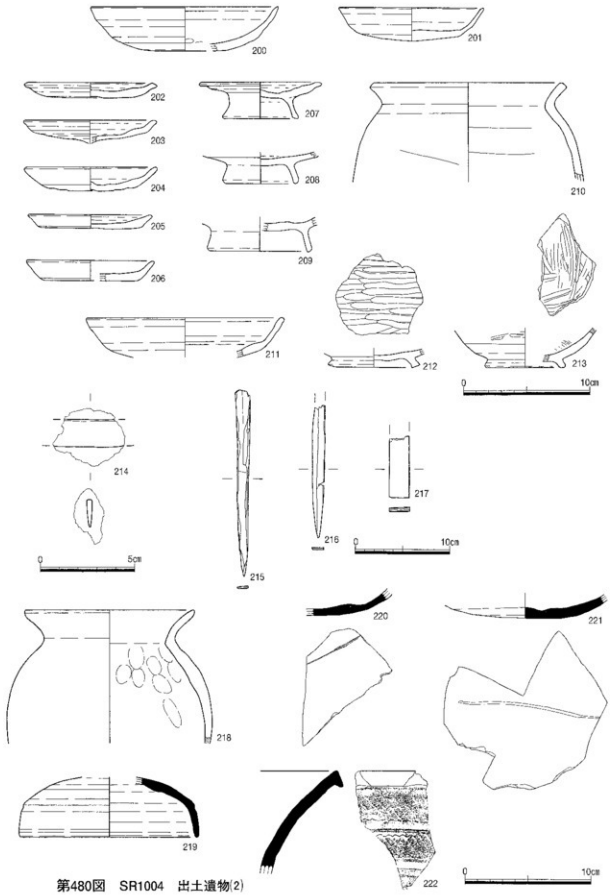
第477図　SR1004　遺物出土状況平面図



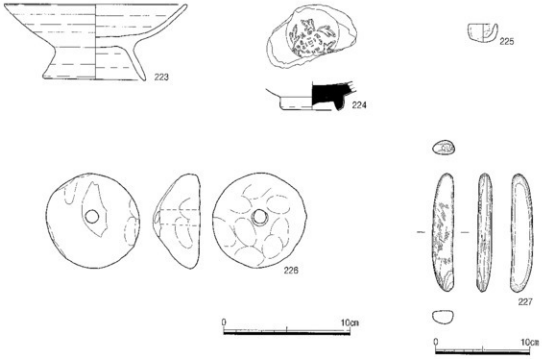
第478図　SR1004　遺物出土状況断面図



第479図　SR1004　出土遺物(1)



第480図　SR1004　出土遺物(2)



第481図　包含層出土遺物

が見られる。

出土遺物　196～198は土師質土器の鍋である。199は瓦器椀の底部破片である。200、201は土師器の杯である。202～209は土師器の皿で、207～209は高台が付く。210は土師器の甕である。211は黒色土器B類の杯である。212、213は黒色土器B類の椀の底部破片である。214は鉄製品の刀子の破片である。215、216は木製祭祀具の斎串である。217は板材である。218は土師器の甕である。219は須恵器の杯蓋である。220、221は須恵器の杯身で、底部外面に刻書がある。222は須恵器の甕である。なお、写真で掲載した228は、鹿の肩甲骨である。端部に解体痕が見られるが、保存状態は良好である。

時期　古墳時代後期から12世紀と考えられる。

⑨包含層出土遺物（第481図）

223は土師器の杯で高台が付く。224は陶器の椀である。225はミニチュア土器である。226は紡錘車である。227は敲石である。両端に敲打痕があり、一端が欠損している。

2　まとめ

南庄遺跡では上層が後世の削平を受けていたため、同一遺構面において複数時期の遺構が混在して検出された。ここでは各遺構ごとに時期を整理して、まとめとする。

① SA（掘立柱建物）

SA は本遺跡の北端で４棟がまとまって検出された。４棟の SA（掘立柱建物）のうち、２棟（SA1001、1002）は EP 出土の遺物から、９世紀後半から10世紀と考えられる。他の２棟も切り合いはなく、同時期のものと推測される。南側の名東遺跡では、この時期の建物は検出されておらず、集落は北側へ展開すると考えられる。

② SB（竪穴住居）

SB は遺跡の南端で１棟検出した。約７m四方の方形の竪穴住居と推定されるが、南西部の大部分が調査区外にあたるため、竈は検出されなかった。時期は古墳時代後期である。南側の名東遺跡では当該時期の住居は検出されておらず、過去の調査成果を勘案すると北東方向への集落の広がりが予想される。

③ SD（溝状遺構）

SD は25条検出されたが、遺物が出土したのは８条である。SD1002、1003、1005、1020、1022で弥生時代に属する遺物が出土している。このうち、まとまった資料が出土したのは SD1020のみである。SD1020は、遺跡の北西から北東方向に流れている。古墳時代後期の遺物と弥生時代後期の遺物が混在することから、古墳時代後期の段階において SD が埋没する過程で、弥生時代の遺物が混入したと考えられる。

SD1002、1003は、この地域の条里である N10° W に沿った直線状を呈することから、道路遺構の側溝が残存したもの、もしくは古代の条里の畦畔に伴う溝と考えられる。道路遺構と考える場合、２条の溝の間隔を考慮すると路面幅は約５mとなる。徳島市矢野遺跡では、15番札所国分寺の東側において２条の道路遺構が検出されているが、その道路幅は最大9.1mと5.1mである（（財）徳島県埋蔵文化財センター　2002）。一方、徳島市敷地遺跡では古代の畦畔のうち、幅５mを超えるものが存在することから（（財）徳島県埋蔵文化財センター　2008）、現時点ではどちらの可能性もあり、北側の自然流路 SR1004 に繋がっていたと推測される。

④ SG（柵列）

SG は６基検出された。このうち SG1001 ～ 1005は２区の南側で近接して検出された。SG1001と1002には切り合い関係があり、1002が新しい。SG1006は SA1001の西側で検出された。西壁とほぼ並行で、切り合い関係から SA が新しいことがわかる。SA の一部である可能性が考えられる。

⑤ SK（土坑）

SK は36基が検出された。このうち３基において遺物が出土した。SK1020、1026、1027は平面形状が長方形の土坑で、古墳時代後期と考えられる。断面形状が、ほぼ垂直に掘り込まれたものであることから、土壙墓の可能性が考えられる。このような長方形土坑は、南庄遺跡や名東遺跡の範囲を超えて吉野川流域で検出されるが、出土する遺物が少なく時期は特定されていない。この他、平面形状が楕円形の SK1013も古墳時代後期と考えられる。

⑥ SP（柱穴）

SPは65基検出されたが、遺物がまとまって出土したものはなかった。

⑦ SR（自然流路）

自然流路もしくは大規模な溝状遺構とみられるSRは、4条が検出された。SR1001～1003は遺跡の南端に、SR1004は北端に位置する。

最も多くの遺物が出土したSR1002は、調査区の南西から北東方向に流れている。弥生時代中期後半から古墳時代初頭にかけて機能したものと考えられる。自然流路としているが、眉山から北へ延びる埋没尾根上を横切るように掘削されており、人工的に掘られた溝状遺構で、環濠としての機能も考えられる。

SR1004は東西方向の流れであるが、調査区内では南側の岸のみが検出されたため、流路や深さは判明していない。かなり大規模な流路と考えられる。2区の調査区では南の岸に沿って集石遺構が検出され、その周囲には土器類や木製品、鹿の骨などの有機物が残存していた。遺物は大きく2時期に分けられる。岸や流路の底面からは古墳時代後期の土器や木製祭祀具の斎串が出土している。遺構が埋没する最終段階からは10世紀から12世紀の遺物が出土したため、集石が機能していた時期は10世紀以前と推測される。

集石を構成する石は結晶片岩が多く、積み上げた様子は確認できないが、出土状況平面図（第477図）を見ると、調査区の東側には南岸に掘り込まれた部分があり、大きな礫が分布する様子がわかる。護岸や船着き場などの構造物の存在も想定されるが、解体痕のある鹿の肩甲骨の断片や木製祭祀具の斎串が出土したことから、祭祀の場としての性格が考えられる。

時期	SA	SB	SD	SK	SR
弥生時代後期			1005 1020		1002
古墳時代後期		1001	1020	1013 1020 1026 1027	
古代	1001 1002		1002 1003		1004

第10表　南庄遺跡　時期別遺構一覧表

⑧まとめ（付図28・29・30　第10表）

弥生時代の遺構としては遺跡の南北両側で僅かにSDとSRの計3条を検出したのみで、集落の周辺に位置していた可能性が高い。SR1002は地形や遺物の出土状況を考慮すると、南西から北東方向への流れと考えられるため、集落は遺跡の南西方向に位置していると推測される。

古墳時代後期になると、遺跡の南端でSBが検出され、北半に土壙墓と見られる長方形土坑が分布する。特にSK1026、1027は2基が並列する。SD1020は弥生時代の遺物を含むが、この段階で埋没した遺構である。

古代の遺構としては遺跡の北端に自然流路が存在し、9世紀の段階ではSRに隣接してSAが分布する。また、この付近の条里方向であるN10°Wに沿って直線状に掘られた2条SD1002、1003がある。SAの西側を北へ延び、SRに合流していたと推測される。SR内からは集石が検出され、その周囲から

斎串や解体痕の残る鹿の肩甲骨などが出土しているため、祭祀関連遺構であった可能性が高いと考えられる。2条の平行するSDは、幅が約5m程度であることから、道路遺構の側溝のみが残存したもの、もしくは坪界の畦畔の両側に掘られた溝の可能性が考えられる。集石遺構が古代の船着き場のような施設と仮定すれば、そこへ通じる道路と考えることも可能であるが、SRの規模が未知であるため、船着き場を想定することは、現段階では困難であると考えられる。

参考文献

（財）徳島県埋蔵文化財センター　1995『名東遺跡』
（財）徳島県埋蔵文化財センター　2000『鮎喰遺跡』
（財）徳島県埋蔵文化財センター　2002『矢野遺跡』
（財）徳島県埋蔵文化財センター　2004『大柿遺跡（Ⅱ）』
（財）徳島県埋蔵文化財センター　2008『敷地遺跡（Ⅰ）』
重根弘和　2005「中世の備前焼」『備前市歴史民俗資料館紀要』7　備前市歴史民俗資料館
菅原康夫・梅木謙一編　2000『弥生土器の様式と編年　四国編』木耳社
杉山秀宏　1988「古墳時代の鉄鏃について」『橿原考古学研究所論集』第八
中世土器研究会編　1995『概説　中世の土器・陶磁器』真陽社
奈良国立文化財研究所　1994『木器集成図録・近畿古代篇』
日本貿易陶磁研究会　1985『貿易陶磁研究　NO.1－NO.5』六一書房
吉成承三　2007「四国の土製竈・羽釜・鍋－－古代末から中世の土製煮炊具の様相－」
『中近世土器の基礎研究』21　日本中世土器研究会

観察表

第11表　南庄遺跡　遺構一覧表

SA

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	間数 梁×桁	梁間 (cm)	桁行 (cm)	面積 (㎡)	棟方向	備考
SA1001	2007	2	SA1003	S18・19・R18・19	1×3	255	680	17.34	N11°W	
SA1002	2007	2	SA1002	T18・19	1×1	198	398	7.88	N	
SA1003	2007	3	SA1004	R20・S20	1×2	289	614	17.74	N30°E	
SA1004	2007	3	SA1001	A19・20	1×2	240	329	7.90	N38°E	

SA内遺構

遺構番号	調査年度	調査区	遺構内遺構番号	旧遺構番号	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深度 (cm)	備考
SA1001	2007	2	EP1	SP2011	S19	31	29	21	
			EP2	SP2014	S19	30	29	13	
			EP3	SP2015	R19	28	22	24	
			EP4	SP2028	R18・19	39	36	12	
			EP5	SP2016	R18	33	30	26	
			EP6	SP2085	S18	36	29	25	
			EP7	SP2012	S18	38	35	38	
SA1002	2007	2	EP1	SP2006	T19	40	37	17	
			EP2	SP2010	S19・T19	30	28	10	
			EP3	SP2008	S18・T18	33	29	20	
SA1003	2007	3	EP1	SP2110	R20	32	30	12	
			EP2	SP2115	R20	40	32	14	
			EP3	SP2111	R20	36	33	14	
			EP4	SP2106	S20	40	37	22	
SA1004	2007	3	EP1	SP2101	A20	38	34	11	
			EP2	SP2102	A20	35	30	10	
			EP3	SP2103	A19・20	35	32	18	
			EP4	SP2095	A19	28	26	12	
			EP5	SP2091	A20	33	28	22	

SB

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深度 (cm)	備考
SB1001	2007	1	SB2001	Q20・R19・20	733	730	29	両側欠

SB内遺構

遺構番号	調査年度	調査区	遺構内遺構番号	旧遺構番号	グリッド	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深度 (cm)	備考
SB1001	2007	1	ED1	SB2001－ED1	Q20・R19・20	1390	43	10	
			EK1	SB2001－EK1	Q20・R20	124	85	17	
			EP1	SB2001－EP1	R20	55	53	46	
			EP2	SB2001－EP2	Q20	59	57	36	

SD

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	延長 (cm)	幅 (cm)	深度 (cm)	軸方向	備考
SD1001	2007	1	SD2023	Q20・Q1	115	90	39	N87°E	
SD1002	2007	1・2	SD2009	Q20・R20・S20・T20・H18・I18・J18・K18・L18・M18・B19・C19・D19・R19・F19・G19・I19・A20・B20・C20・Q1・R1	8120	120	37	N10°W	
SD1003	2007	1・2	SD2005	M18・19・N18・19・O18・P18・Q18・R18・S18・G19・H19・I19・J19・K19・L19・C20・D20・E20・F20・G20・H20	5640	140	36	N10°W	

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	延長(cm)	幅(cm)	深度(cm)	軸方向	備考
SD1004	2007	1	SD2024	S18-19・T18-19・A28-B18	1730	395	29	N20°W	
SD1005	2007	1	SD2025	S18・T18	425	115	14	N24°W	
SD1006	2007	1	SD2019	B18・C18・19・D19・20・E19・20・F20	2640	75	29	N36°E	SK1009・SD1004に切られる
SD1007	2007	1	SD2022	C20・D19・20	550	50	12	N43°W	
SD1008	2007	1	SD2015	E18・19・F19	1150	60	22	N73°E	
SD1009	2007	1	SD2014	R18・F18・19	305	40	17	N80°E	
SD1010	2007	1	SD2021	F19・20	330	60	35	N70°E	
SD1011	2007	1	SD2020	F19・20	330	90	16	N54°W	SD1012に切られる
SD1012	2007	1	SD2018	F19・20・F1・G20・G1	990	80	13	N79°E	
SD1013	2007	1	SD2017	G19・20・G1	895	40	26	N81°E	
SD1014	2007	1	SD2016	G19・20・G1	680	50	17	N79°E	
SD1015	2007	1	SD2013	G18	440	25	9	N81°E	
SD1016	2007	1・2	SD2012	F18・G18・H18・I18	1330	50	7	E:N12°W 他:N86°E	
SD1017	2007	2	SD2010	K18・19・L18・19		160	17	N74°W	
SD1018	2007	2	SD2011	K20	200	60	21	N76°W	
SD1019	2007	2	SD2008	P19・20	710	45	11	N88°W	
SD1020	2007	2・3	SD2006	O18・P18・Q18・19・R19・20・S19・20・T20・A20	2900	310	81	N32°E	
SD1021	2007	2	SD2007	P19・Q19	470	55	16	N10°W	
SD1022	2007	2	SD2004	R18・S18	395	45	12	N11°E	
SD1023	2007	2	SD2003	S18	320	40	12	N78°E	
SD1024	2007	2・3	SD2002	A18・19・20	1040	100	21	N80°E	
SD1025	2007	3	SD2001	A20・B20				N45°W	

SG

遺構番号	調査年度	調査区	グリッド	規模(cm)	軸方向	備考
SG1001	2007	2	K19・L19	490	N38°W	
SG1002	2007	2	K19・L18・19	715	N57°W	
SG1003	2007	2	K19・L18・19	770	N61°W	
SG1004	2007	2	K19・K20	675	N57°W	
SG1005	2007	2	J20・K20	320	N58°W	
SG1006	2007	2	R18・S18	465	N12°W	

SG内遺構

遺構番号	調査年度	調査区	遺構内遺構番号	旧遺構番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深度(cm)	軸方向	備考
SG1001	2007	2	EP 1	SP2043	L19	30	27	8	N58°W	
			EP 2	SP2045	L19	32	30	13		
			EP 3	SP2047	L19	32	23	12		SG1002EP 5に切られる
			EP 4	SP2049	K19・L19	33	24	16		SG1002EP 6に切られる
			EP 5	SP2058	K19	30	15	6		SG1002EP 7に切られる
			EP 6	SP2056	K19	27	19	11		SG1002EP 8に切られる
SG1002	2007	2	EP 1	SP2040	L18	29	27	14	N57°W	
			EP 2	SP2041	L18	40	37	15		
			EP 3	SP2042	L18・19	46	35	8		
			EP 4	SP2046	L19	32	30	12		SG1001EP 2に切られる
			EP 5	SP2048	L19	30	23	15		
			EP 6	SP2050	K19	28	26	16		
			EP 7	SP2057	K19	56	29	23		
			EP 8	SP2055	K19	69	28	13		
SG1003	2007	2	EP 1	SP2037	L18	36	24	15	N61°W	
			EP 2	SP2039	L18	30	28	18		
			EP 3	SP2044	L19	33	28	9		
			EP 4	SP2052	K19	25	24	6		
			EP 5	SP2053	K19	21	21	22		
SG1004	2007	2	EP 1	SP2051	K19	31	28	25	N57°W	
			EP 2	SP2054	K19・20	25	23	13		
			EP 3	SP2069	K20	54	15	20		
			EP 4	SP2068	K20	54	34	17		
			EP 5	SP2067	K20	48	27	20		

遺構番号	調査年度	調査区	遺構内遺構番号	旧遺構番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深度(cm)	軸方向	備考
SG1005	2007	2	EP1	SP2070	K20	59	31	23	N58°W	
			EP2	SP2071	K20	50	32	21		
			EP3	SP2072	J20	32	30	16		
			EP4	SP2073	J20	49	28	22		
			EP5	SP2074	J20	35	25	21		
SG1006	2007	2	EP1	SP2084	S18	33	20	15	N12°W	SG1001EP6に切られる
			EP2	SP2017	R18	36	33	44		
			EP3	SP2029	R18	34	15	25		SG1001EP4に切られる

SK

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深度(cm)	長軸方向	備考
SK1001	2007	1	SK2028	P20・Q20・P1	155	105	14	N45°W	
SK1002	2007	1	SK2027	Q20	235	206	10	N4°E	西側欠・SD1001に切られる
SK1003	2007	1	SK2026	B19	280	103	47	真北	
SK1004	2007	1	SK2029	C18・19	120	82	13	N21°E	
SK1005	2007	1	SK2022	D19・20・E20	209	90	56	N32°E	
SK1006	2007	1	SK2023	D19・E19	249	70	59	N29°E	
SK1007	2007	1	SK2024	E19	85	70	10	N29°E	西側欠
SK1008	2007	1	SK2021	E19・F19	226	61	13	N3°W	
SK1009	2007	1	SK2020	F20・F1	290	160	50	N2°E	東側欠
SK1010	2007	1	SK2018	G18	248	87	40	N9°W	
SK1011	2007	1	SK2017	G18	48	43	11	N86°W	
SK1012	2007	1	SK2019	G20	138	90	30	N10°W	SD1013に切られる
SK1013	2007	2	SK2015	I18・19	320	141	12	N83°E	
SK1014	2007	2	SK2014	J19・20・K19・20	190	67	21	N10°W	
SK1015	2007	2	SK2013	L20	210	46	11	N6°W	
SK1016	2007	2	SK2011	M19	82	70	12	N46°E	
SK1017	2007	2	SK2010	N20	78	64	16	N30°W	
SK1018	2007	2	SK2009	O20	127	67	10	N80°W	
SK1019	2007	2	SK2008	O19	127	92	10	N79°E	
SK1020	2007	2	SK2012	O18	213	165	45	N69°W	
SK1021	2007	2	SK2007	Q19	88	58	15	N7°W	
SK1022	2007	2	SK2006	K19・S19	190	98	25	N33°W	
SK1023	2007	2	SK2005	S18	100	65	16	N14°E	
SK1024	2007	2	SK2004	S18・T18	144	95	23	N13°E	
SK1025	2007	2	SK2003	T18	104	62	47	N30°E	
SK1026	2007	2	SK2002	A18	200	83	39	N88°E	
SK1027	2007	2	SK2001	A18	223	95	30	N86°E	
SK1028	2007	2	SK2016	T19・A19	234	60	30	N1°E	東側欠
SK1029	2007	3	SK2034	Q19・20	147	108	10	N10°E	
SK1030	2007	3	SK2033	Q20・R20	220	200	10	N86°E	東側欠
SK1031	2007	3	SK2032	S20	80	52	12	N82°W	
SK1032	2007	3	SK2035	R20・S20	375	140	10	N44°E	東側欠
SK1033	2007	3	SK2031	A19・20	170	82	12	真北	SA1004EP3に切られる
SK1034	2007	3	SK2030	A19	61	52	12	N78°E	西側欠
SK1035	2007	3	SK2037	B20	78	58	40	N10°W	
SK1036	2007	3	SK2036	B20	164	113	39	N18°W	

SP

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深度(cm)	備考
SP1001	2007	1	SP2100	P20	25	23	21	
SP1002	2007	1	SP2099	P20	35	33	65	
SP1003	2007	1	SP2098	P1	25	23	23	
SP1004	2007	1	SP2097	S20	31	29	19	
SP1005	2007	1	SP2096	E20	24	22	16	
SP1006	2007	1	SP2093	E20	46	44	22	
SP1007	2007	1	SP2092	E19・20	55	27	12	
SP1008	2007	1	SP2091	F20	33	28	28	
SP1009	2007	1	SP2090	F20	30	25	16	SP1008に切られる
SP1010	2007	1	SP2089	F20	36	32	23	
SP1011	2007	1	SP2088	F20	30	30	24	SP1010に切られる

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深度(cm)	備考
SP1012	2007	1	SP2087	F20	75	39	26	
SP1013	2007	1	SP2086	F18	22	19	13	
SP1014	2007	2	SP2082	H18	36	33	20	
SP1015	2007	2	SP2080	H18	30	28	26	
SP1016	2007	2	SP2079	H18	35	26	17	
SP1017	2007	2	SP2081	H18	33	24	20	
SP1018	2007	2	SP2083	J19·20	63	49	6	
SP1019	2007	2	SP2078	J18	22	20	9	
SP1020	2007	2	SP2076	J18·K18	33	31	7	
SP1021	2007	2	SP2077	J18·K18	53	29	15	
SP1022	2007	2	SP2075	K18	33	26	7	
SP1023	2007	2	SP2066	K20	28	26	9	
SP1024	2007	2	SP2059	K19·L19	30	26	11	SG1001EF 5 に切られる
SP1025	2007	2	SP2060	L19	30	28	20	
SP1026	2007	2	SP2038	L18	70	42	11	
SP1027	2007	2	SP2061	L19	26	24	9	
SP1028	2007	2	SP2062	L19	28	25	7	
SP1029	2007	2	SP2063	L19·20·M19·20	51	48	24	
SP1030	2007	2	SP2064	M19	26	25	9	
SP1031	2007	2	SP2065	M20	35	26	17	
SP1032	2007	2	SP2036	N18	63	46	24	
SP1033	2007	2	SP2035	N18	35	33	16	
SP1034	2007	2	SP2034	N18	33	31	20	
SP1035	2007	2	SP2031	N18	30	30	20	
SP1036	2007	2	SP2032	N18	35	31	26	SP1037に切られる
SP1037	2007	2	SP2033	N18	38	33	21	
SP1038	2007	2	SP2025	N19	28	28	19	
SP1039	2007	2	SP2026	N19	37	33	25	
SP1040	2007	2	SP2024	N20	40	32	17	
SP1041	2007	2	SP2023	N20	31	30	19	
SP1042	2007	2	SP2022	O20	63	61	22	
SP1043	2007	2	SP2021	O20	52	48	16	
SP1044	2007	2	SP2039	O20	36	34	19	
SP1045	2007	2	SP2027	O18	39	37	25	
SP1046	2007	2	SP2019	P19	47	46	36	
SP1047	2007	2	SP2018	P19	31	30	15	
SP1048	2007	2	SP2030	Q18·R18	29	29	17	
SP1049	2007	2	SP2013	S18	38	36	33	
SP1050	2007	2	SP2009	S18·T18	35	33	19	
SP1051	2007	2	SP2007	T18	24	22	36	
SP1052	2007	2	SP2005	A18	30	27	23	
SP1053	2007	2	SP2004	A18	34	30	31	SK1027に切られる
SP1054	2007	2	SP2003	A18	27	16	20	倒溝に切られる
SP1055	2007	2	SP2002	A18	29	25	11	
SP1056	2007	2	SP2001	A18·19	47	46	25	
SP1057	2007	3	SP2114	Q20	51	47	22	
SP1058	2007	3	SP2113	Q20	30	47	15	
SP1059	2007	3	SP2112	Q20	52	45	11	
SP1060	2007	3	SP2116	R20	54	40	10	
SP1061	2007	3	SP2108	R20	43	38	14	
SP1062	2007	3	SP2109	R20·S20	50	44	16	
SP1063	2007	3	SP2107	S20	46	39	13	
SP1064	2007	3	SP2105	S20	27	25	33	
SP1065	2007	3	SP2101	T20	32	28	36	

SR

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	延長(cm)	幅(cm)	深度(cm)	軸方向	備考
SR1001	2007	1	SR2004	S19·S20·T20·S1·T1	1070	360	30		
SR1002	2007	1	SR2003	S18·19·20·T19·20·A19·20·B20·A1·B1	1800	510	120	N40°E	
SR1003	2007	1	SR2005	A18·B18·19·C18	1240	510	27		
SR1004	2007	2・3	SR2001	A17·18·19·B17·18·19·20·C17·18·19	940	720	115		

SR内遺構

遺構番号	調査年度	調査区	遺構内遺構番号	旧遺構番号	グリッド	延長(cm)	幅(cm)	深度(cm)	備考
SR1002	2007	1	EP 1	SR2003EP 3	S19	23	20	35	
			EP 2	SR2003EP 2	S19	24	20	20	
			EP 3	SR2003EP 1	S19	20	18	17	
			EP 4	SR2003EP 4	T19	26	23	20	
			EP 5	SR2003EP 5	T20	19	18	5	
			EP 6	SR2003EP 6	T20	20	16	10	
			EP 7	SR2003EP 7	A20	28	27	11	
			EP 8	SR2003EP 8	A20	47	43	22	

ST

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深度(cm)	軸方向	備考
ST1001	2007	1	ST2001	A19-B19	155	145	-	N56°E	

SX

遺構番号	調査年度	調査区	旧遺構番号	グリッド	長軸(cm)	短軸(cm)	深度(cm)	備考
SX1001	2007	1	SX2003	F20-G20-F1-G1	620	565	7	東側欠
SX1002	2007	2	SX2002	L18	185	175	12	西側欠

第12表　南庄遺跡　土器・土製品観察表

掲載番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量(口径)	法量(頸部・胴部)	法量(最大径)	法量(器高)	法量(底径)	法量(高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
1	黒色土器	椀	2区	SA1001EP7	(15.9)			底上復元(5.2)	6.6	0.7	全体の1/8	外面：口縁部回転ナデ、体部回転ナデのちヘラミガキ（幅3㎜）。底部、高台部回転ナデ。貼付高台　内面：ヘラミガキ（幅2～3㎜）。	焼成：良。密度：良。反転復元。口縁部と底部は接合しない。黒色土器A類。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、雲母 法量：0.1～2.0㎜	外面：口縁部－5YR6/4にぶい橙。底部－2.5Y3/1黒褐。内面：5Y2/1黒。
2	黒色土器	椀	2区	SA1002EP3				1.6	6.6	0.9	底部1/4	外面：高台部ヨコナデ。貼付高台 内面：回転ナデのちヘラミガキ（幅約2㎜）。	焼成：良。密度：精。反転復元。黒色土器B類。	結晶片岩、雲母等 法量：0.1～2.5㎜	外面：2.5Y3/1黒褐。内面：10YR3/1黒褐。
3	須恵器	杯蓋	1区	SB1001	14.3			4.7			全体の2/3	外面：口縁部、体部下回転ナデ。体部上、天頂部回転ヘラケズリ。内面：口縁部、体部回転ナデのちユビナデ。天頂部回転ナデ。	焼成：良。密度：精。一部合成。	石英、長石、黒色粒粒 法量：0.1～4.6㎜	外面：5PB6/1青灰。内面：5PB6/1青灰。
4	須恵器	杯蓋	1区	SB1001	(14.6)			(3.9)			全体の1/5	外面：口縁部、体部回転ナデ、沈線1条。天頂部回転ヘラケズリ。内面：回転ナデ、沈線1条。	焼成：良。密度：精。反転復元。	石英、長石 法量：0.1～2.2㎜	外面：5BG6/1青灰。内面：N6/0灰。
5	須恵器	杯身	1区	SB1001	(12.8)			4.5	(6.4)		全体の1/2	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラケズリ。内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。口縁部打ち欠き。	石英、長石、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～3.5㎜	外面：N5/0灰。内面：N5/0灰。
6	須恵器	杯身	1区	SB1001	(13.8)		(16.4)	(4.5)	(12.8)		全体の1/5	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラケズリ。内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：精。	石英、長石 法量：0.1～3.3㎜	外面：N7/0灰白。内面：N7/0灰白。
7	須恵器	杯身	1区	SB1001							全体の4/5	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラケズリ。内面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ナデのちユビナデ。	焼成：やや不良。密度：良。一部反転復元。	石英、長石、結晶片岩、黒色斑粒 法量：0.1～3.6㎜	外面：5PB6/1青灰。内面：5PB7/1明青灰。
8	須恵器	杯身	1区	SB1001	(12.8)			(4.2)	(8.4)		全体の1/2	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラケズリ。内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、絹雲母 法量：0.1～1.5㎜	外面：N5/0灰。内面：N5/0灰。
9	土師器	甕	1区	SB1001	(18.4)	(15.3)	(25.2)	(26.0)			全体の1/3	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ハケのちヨコナデ。ハケの痕跡が僅かに残る。体部ハケ（6条／㎝）。内面：口縁部ハケ（4条／㎝）のちナデ。頸部ハケ（4条／㎝）。体部ハケ（3条／㎝）。	焼成：良。密度：良。反転復元。内外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、雲母 法量：0.1～6.0㎜	外面：7.5YR6/4にぶい橙。内面：7.5YR6/4にぶい橙。
10	土師器	甕	1区	SB1001		26.0	33.3	23.3			全体の1/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部上ハケ（10条／㎝）。体部下ハケ（3条／㎝）。内面：頸部、体部上ヘラケズリのちユビオサエ、板ナデ。体部下ユビオサエ、ユビナデ。	焼成：やや不良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、雲母 法量：0.1～6.5㎜	外面：7.5YR6/4にぶい橙。内面：7.5YR6/4にぶい橙。
11	土師器	把手	1区	SB1001							把手のみ	外面：体部ハケ（12条／㎝）。把手部ユビオサエ、ユビナデ。	焼成：良。密度：良。断面楕円。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、雲母 法量：0.1～7.0㎜	外面：10YR6/4にぶい黄橙。内面：7.5YR6/4にぶい橙。
12	土師器	把手	1区	SB1001	長さ6.2	幅9.8	高さ4.7				把手のみ	外面：体部ハケ（8条／㎝）。把手部ユビオサエ、ユビナデ。	焼成：良。密度：精。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、雲母 法量：0.1～5.0㎜	外面：7.5YR6/4にぶい橙。内面：5YR6/4にぶい橙。
26	須恵器	杯蓋	1・2区	SD1003	12.4			(5.0)			全体の1/4	外面：口縁部、体部下回転ナデ。体部上、天頂部回転ヘラケズリ。内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。	石英、長石 法量：0.1～5.0㎜	外面：N8/0灰白。内面：N8/0灰白。
28	弥生土器	高杯	1区	SD1005				(8.8)			全体の3/4	外面：脚部ヘラミガキ（幅3㎜）。内面：脚部ユビナデ、絞り痕。	焼成：良。密度：良。反転復元。一部合成。透かし孔3ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、雲母 法量：0.1～4.4㎜	外面：7.5YR6/6橙。内面：7.5YR6/6橙。
30	土師質土器	皿	1区	SD1011	(10.2)			(1.2)			全体の3/5	外面：回転ナデ、高台の接合痕あり。内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。反転復元。底部穿孔あり（φ6.5㎜）。	長石、結晶片岩、赤色斑粒、雲母 法量：0.1～3.0㎜	外面：10YR7/4にぶい黄橙。内面：10YR7/4にぶい黄橙。
31	土師器	椀	2・3区	SD1020	10.0			5.1	8.0		ほぼ完形	外面：口縁部、体部ユビオサエ、ユビナデ。底部ナデ。内面：ユビオサエのちユビナデ。	焼成：良。密度：良。体部内面の下方爪跡あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、雲母 法量：0.1～4.0㎜	外面：10YR6/4にぶい黄橙。内面：10YR6/4にぶい黄橙。
32	土師器	椀	2・3区	SD1020	8.2		10.1	4.8	6.4		全体の1/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部ユビオサエのちナデ（摩滅）。底部ナデ。内面：ユビオサエのちユビナデ。	焼成：やや不良。密度：良。反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、雲母 法量：0.1～3.5㎜	外面：7.5YR6/4にぶい橙。内面：7.5YR5/4にぶい褐。

挿図番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量(口径)	法量(頸径・胴径)	法量(最大径)	法量(器高)	法量(底径)	法量(高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
33	土師器	甕	2・3区	SD1020	(13.2)	(12.0)	(16.3)	(11.7)			全体の1/6	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ユビオサエのちヨコナデ。体部ハケ(4条/cm)。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部摩滅のため調整不明瞭。板ナデもしくはハケ。体部ユビナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 一部合成。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～3.0㎜	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
34	土師器	甕	2・3区	SD1020	(14.8)	(12.8)		(7.3)			口縁部1/8	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ハケ。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラケズリのちユビオサエ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 頸部外面に爪跡2ヶ所あり。	石英、赤色斑粒 法量：0.1～2.2㎜	外面：5YR8/4淡橙。 内面：5YR7/4にぶい橙。
35	土師器	甕	2・3区	SD1020	16.5	14.1		(6.6)			口縁部～頸部1/5	外面：口縁部ヨコナデのち板ナデ。頸部ユビオサエのち板ナデ。体部板ナデ。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラケズリのち板ナデ。	焼成：やや不良。密度：良。 反転復元。 一部合成。	石英、赤色斑粒 法量：0.1～3.0㎜	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：5YR5/6明赤褐。
36	土師器	甕	2・3区	SD1020	(14.6)	(12.2)		(6.8)			全体の1/5	外面：口縁部ヨコナデ。体部摩滅のため調整不明瞭。ヘラミガキ（幅3㎜）。 内面：口縁部ヨコナデ。体部摩滅のため調整不明瞭。板ナデ（幅1.4cm）	焼成：やや不良。密度：良。 反転復元。 外面煤付着。	石英、結晶片岩 法量：0.1～3.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。
37	土師器	甕	2・3区	SD1020	15.8	12.6		(6.5)			全体の1/10以下	外面：口縁部ヨコナデ。頸部タタキのちハケ(3条/cm)のちヨコナデ。体部タタキのちハケ(3条/cm)。 内面：口縁部板ナデ。体部ヘラケズリのち板ナデ。	焼成：良。密度：粗。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～9.0㎜	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：口縁部－5YR6/4にぶい橙。体部－10YR5/1褐灰。
38	土師器	把手	2・3区	SD1020				(3.5)			把手のみ	外面：ユビオサエ、ユビナデ。	焼成：良。密度：良。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1～5.0㎜	外面：10YR7/2にぶい黄橙。
39	須恵器	杯蓋	2・3区	SD1020	(15.9)			4.7	天井径6.0		天井部完形	外面：口縁部、体部下回転ナデ、沈線1条。体部上、天頂部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：やや不良。密度：良。 一部反転復元。	石英、長石、赤色斑粒 法量：0.1～3.0㎜	外面：N6/0灰。 内面：2.5Y5/2灰黄。
40	須恵器	杯蓋	2・3区	SD1020	12.6			4.5			全体の4/5	外面：口縁部、体部下回転ナデ。体部上、天底部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：精。 一部合成。	石英、結晶片岩 法量：0.1～3.5㎜	外面：N6/0灰。 内面：N5/0灰。
41	須恵器	杯身	2・3区	SD1020	(10.9)			4.4	(5.2)		全体の1/2	外面：口縁部、体部下回転ナデ。体部上、底部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 底部外面ヘラ記号あり。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～2.0㎜	外面：N5/0灰。 内面：N5/0灰。
42	須恵器	杯身	2・3区	SD1020	11.1			5.4	11.5		全体の7/10	外面：口縁部、体部上回転ナデ。体部下、底部回転ヘラケズリ。 内面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ナデのちナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、長石、結晶片岩、黒色斑粒 法量：0.1～2.0㎜	外面：N5/0灰。 内面：N6/0灰。
43	須恵器	杯身	2・3区	SD1020	(12.0)	(14.2)		(5.2)			全体の1/5	外面：口縁部、体部上回転ナデ。体部下、底部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、長石 法量：0.1～2.0㎜	外面：N5/0灰。 内面：N5/0灰。
44	須恵器	杯身	2・3区	SD1020	12.0			(4.8)			全体の1/3	外面：口縁部、体部上回転ナデ。体部下、底部回転ヘラケズリ。 内面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ナデのちユビナデ。	焼成：良。密度：粗。	石英、長石、結晶片岩、絹雲母、黒色斑粒 法量：0.1～3.0㎜	外面：5PB5/1青灰。 内面：5PB5/1青灰。
45	須恵器	杯身	2・3区	SD1020	11.6		13.6	(4.15)	11.5		全体の1/8	外面：口縁部、体部上回転ナデ。体部下、底部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：精。 反転復元。	石英、長石、結晶片岩、黒色斑粒 法量：0.1～4.0㎜	外面：2.5Y7/1灰白。 内面：7.5Y6/1灰。
46	須恵器	杯身	2・3区	SD1020	11.0		13.0	3.1	9.1		全体の1/2	外面：口縁部、体部上回転ナデ。体部下、底部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：精。 反転復元。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1～4.0㎜	外面：N6/0灰。 内面：5PB6/1青灰。
47	須恵器	杯身	2・3区	SD1020			12.2	4.1	8.8		全体の1/5	外面：口縁部、体部上回転ナデ。体部下、底部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：精。 反転復元。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母、黒色斑粒 法量：0.1～1.5㎜	外面：N6/0灰。 内面：N6/0灰。
48	須恵器	杯身	2・3区	SD1020			(16.0)	(3.0)	(13.4)		全体の1/5	外面：体部上回転ナデ。体部下、底部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：緻。 反転復元。	石英、長石、黒色斑粒 法量：0.1～3.0㎜	外面：N7/0灰白。 内面：N6/0灰。
49	須恵器	𤭯	2・3区	SD1020		7.8	17.9	(14.9)			全体の3/4	外面：頸部回転ナデのち波状文。体部上回転ナデ、沈線1条、回転ヘラケズリ。体部下、底部回転ヘラケズリのちタタキ。 内面：頸部、体部回転ナデ。底部ユビオサエ。	焼成：良。密度：精。 反転復元。 一部合成。 肩部外面に自然釉付着。 体部上部穿孔1ヶ所あり（外→内）。	石英、結晶片岩、絹雲母、黒色斑粒 法量：0.1～4.5㎜	外面：5PB5/1青灰。 内面：5PB5/1青灰。

掲載番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量(口径)	法量(頸径・胴径)	法量(最大径)	法量(器高)	法量(底径)	法量(高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
50	弥生土器	甕	2・3区	SD1020	18.6	15.3		(3.6)			口縁部～頸部1/5	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ハケ(4条／cm)。 内面：口縁部、頸部ナデ。体部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：10YR7/3にぶい黄橙。
51	弥生土器	甕	2・3区	SD1020				3.4	3.8		底部完形	外面：体部下タタキ(3条/1.1cm)のちナデ(摩滅が著しい)。 内面：体部下ヘラケズリのちハケ(5条／cm)。	焼成：やや不良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～6.0mm	外面：10YR5/4にぶい黄褐。 内面：10YR5/4にぶい黄褐。
52	弥生土器	壷	2・3区	SD1020				(2.0)	4.0		底部完形	外面：体部下ヨコナデ。 内面：体部下ユビナデ。	焼成：良。密度：良。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～6.0mm	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR7/6橙。
53	弥生土器	鉢	2・3区	SD1020				(4.1)	3.0		底部完形	外面：体部下タタキ(4条／cm)のちユビオサエ、ユビナデ。底部ナデ。 内面：体部下ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 体部外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～3.0mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR7/4にぶい橙。
54	弥生土器	鉢	2・3区	SD1020				(3.4)	3.9		底部完形	外面：体部下板ナデ(幅1.3cm)。底部ナデ。 内面：体部下板ナデ(幅1.3cm)。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
55	弥生土器	鉢	2・3区	SD1020				(3.7)	3.6		底部完形	外面：体部下タタキ(3条／cm)のちナデ。 内面：体部下ユビオサエ、ユビナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 底部穿孔1ヶ所あり。(内→外)。 体部外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
56	弥生土器	鉢	2・3区	SD1020				(3.5)	5.2		底部完形	外面：体部下板ナデ(幅1.2cm)。底部ナデ。 内面：体部下板ナデ(幅1.2cm)。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：7.5YR5/2灰褐。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
57	弥生土器	鉢	2・3区	SD1020				(3.0)	5.4		底部完形	外面：体部下板ナデ(幅1.5cm)。底部ナデ。 内面：体部下板ナデ(幅1.5cm)。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～5.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
58	弥生土器	鉢	2・3区	SD1020				(2.5)	4.5		底部完形	外面：体部下ユビオサエのちタタキ(3条／cm)。底部ナデ。 内面：底部ユビナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面の一部黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～5.0mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/6橙。
59	弥生土器	鉢	2・3区	SD1020				2.5	5.2		底部完形	外面：体部下ユビオサエのちナデ。 内面：体部下ヘラケズリのちユビオサエ。底部ナデ。	焼成：やや不良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～5.5mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
60	弥生土器	高杯	2・3区	SD1020	(29.3)			(4.15)			全体の1/9	外面：口縁部ヨコナデ。杯部上ナデのちヘラミガキ。 内面：口縁部ヨコナデ。杯部上摩滅のため調整不明瞭。ハケ？	焼成：良。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～5.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：5YR6/6橙。
61	弥生土器	高杯	2・3区	SD1020				7.3			全体の3/10	外面：脚部上ヘラミガキ(幅3mm)。 内面：脚部下ハケ(6条／cm)。	焼成：やや不良。密度：良。 一部反転復元。 透かし孔3ヶ所あり。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：7.5YR5/6明褐。 内面：7.5YR5/4にぶい褐。
62	弥生土器	高杯	2・3区	SD1020				6.8			全体の1/5	外面：脚部摩滅のため調整不明瞭。ヘラミガキの痕跡あり。 内面：杯部ナデ。脚部ヘラケズリのちナデ。	焼成：不良。密度：粗。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～5.0mm	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：5YR5/6明赤褐。
63	土師器	杯	2・3区	SD1020	10.2			2.0	7.8		全体の3/5	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラ切り。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：精。 反転復元。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～2.5mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
65	土師器	把手	2・3区	SD1024				(6.8)			把手のみ	外面：ユビオサエ。	焼成：良。密度：良。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1～10.0mm	外面：7.5YR8/2灰白。
67	須恵器	杯身	2区	SK1013	(14.3)			(3.2)			全体の1/6	外面：口縁部、体部上回転ナデ。体部下回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：精。 反転復元。 一部合成。	石英、長石、黒雲母、黒色斑粒 法量：0.1～0.8mm	外面：N7/0灰白。 内面：N7/0灰白。
68	土師器	甕	2区	SK1020	(13.6)	(11.7)		(4.3)			口縁部1/5	外面：ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英 法量：0.1～3.2mm	外面：10YR7/4にぶい黄橙。 内面：2.5Y8/3淡黄。
69	須恵器	杯蓋	2区	SK1020	(12.0)			(3.5)			口縁部1/5	外面：回転ナデ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、長石、赤色斑粒 法量：0.1～3.5mm	外面：N6/0灰。 内面：N6/0灰。
70	弥生土器	甕	2区	SK1020				(3.2)	3.9		全体の3/4	外面：体部タタキ(3条／cm)のちハケ(8条／cm)。底部ユビオサエ、ユビナデ。 内面：ユビオサエ、ユビナデ。	焼成：良。密度：精。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～3.0mm	外面：7.5YR4/2灰褐。 内面：2.5Y4/1黄灰。
71	須恵器	甕	2区	SK1026				2.8			口縁部1/10	外面：頸部櫛描波状文(9条／cm)。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1～1.5mm	外面：7.5Y5/1灰。 内面：N6/0灰。

掲載番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量(口径)	法量(頸径・胴径)	法量(最大径)	法量(器高)	法量(底径)	法量(高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
72	土師器	椀	2区	SK1027	12.4			5.7	4.1		ほぼ完形	外面：口縁部ヨコナデ。体部、底部ナデ、ユビオサエ。 内面：口縁部ヨコナデ。体部、底部ナデ。		石英、長石、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～2.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。
73	土師器	甕	2区	SK1027	(16.0)	(12.7)		(7.4)			全体の1/7	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ユビオサエのちヨコナデ。体部ハケ(4条/㎝)。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部ハケ(5条/㎝)(やや摩滅)。体部上ユビオサエのちヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.0㎜	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/6橙。
74	須恵器	杯蓋	2区	SK1027	(10.4)			(3.1)			全体の1/6	外面：回転ナデ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：精。 反転復元。 体部外面に自然釉付着。	石英、長石、黒雲母 法量：0.1～0.8㎜	外面：5PB6/1青灰。 内面：5PB6/1青灰。
75	須恵器	杯身	2区	SK1027				(4.0)	(9.4)		全体の1/8	外面：体部上回転ナデ。体部下、底部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 一部合成。	石英、長石、絹雲母、黒色斑粒 法量：0.1～3.0㎜	外面：N7/0灰白。 内面：5PB6/1青灰。
78	弥生土器	壺	1区	SR1002	(9.6)			(13.2)			口縁部～頸部7/8	外面：口縁部ヨコナデ後、沈線2条。頸部ヘラミガキ（幅3㎜）。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部ヘラミガキ(幅4.5㎜)。	焼成：良。密度：良。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.5㎜	外面：7.5YR7/4にぶい橙。 内面：7.5YR8/4浅黄橙。
79	弥生土器	甕	1区	SR1002		(10.3)		(16.4)			頸部2/3	外面：頸部ハケ(7条/㎝)のちナデのち沈線（螺旋状）。体部ハケ(7条/㎝)のちヘラミガキ（幅4㎜）。 内面：頸部板ナデ（幅1.5㎝）、ヘラケズリ。体部ヘラケズリのちナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～6.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR5/3にぶい褐。
80	弥生土器	鉢	1区	SR1002				(22.0)	6.6		体部～底部3/5	外面：頸部ヘラミガキ（幅5㎜）。体部ヨコナデ（摩滅のため調整不明瞭）、ハケ(4条/㎝)、ナデ。底部ナデ。 内面：頸部ユビオサエ、ナデ。体部ヘラケズリ、板ナデ。底部板ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 底部の一部煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～11.5㎜	外面：5YR7/3にぶい橙。 内面：5YR7/4にぶい橙。
81	弥生土器	甕	1区	SR1002	(19.8)			(17.8)			口縁部1/6	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ユビオサエのち板ナデ。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～3.0㎜	外面：7.5YR5/4にぶい褐。 内面：7.5YR5/4にぶい褐。
82	弥生土器	高杯	1区	SR1002				(7.1)	(19.0)		全体の1/5	外面：脚部上タタキ(3～4条/㎝)。脚部下ヨコナデ。 内面：脚部上ヘラケズリのちナデ。脚部下板ナデ（幅1.5㎝）。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 透かし孔の痕跡あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～10.0㎜	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/6橙。
87	弥生土器	ミニチュア甕	1区	SR1002	3.0			5.5	2.4		ほぼ完形	外面：口縁部ヨコナデのち刺突文。体部ユビオサエのちユビナデ。底部ユビナデ。 内面：ユビナデ。	焼成：良。密度：良。	石英、長石、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～5.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/4にぶい橙。
88	弥生土器	壺	1区	SR1002	21.6			6.3			全体の1/15	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ハケ(6～8条/㎝) 内面：口縁部ハケ(12条/㎝)のちナデ。接合痕あり。頸部ハケ（6条/㎝）のちナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～3.0㎜	外面：2.5YR5/6明赤褐。 内面：5YR6/6橙。
89	弥生土器	壺	1区	SR1002	(20.2)			(4.3)			口縁部1/4	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ハケ（9条/㎝）。 内面：口縁部、頸部ハケ(7条/㎝)。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～2.0㎜	外面：5YR5/4にぶい赤褐。 内面：10YR4/3にぶい黄褐。
90	弥生土器	壺	1区	SR1002	(18.5)	(9.2)		(9.2)			全体の4/5	外面：口縁部ナデ、竹管文。頸部ヘラミガキ（幅2.5㎜）。 内面：摩滅のため調整不明。口縁部ヨコナデ。頸部ユビオサエのちナデ。ヘラミガキの痕跡あり。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 頸部内面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～6.5㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。
91	弥生土器	壺	1区	SR1002	12.9			(11.5)			全体の1/3?	外面：口縁部ヨコナデ。頸部上ヘラミガキ。頸部櫛描直線文。体部上櫛描波状文。体部下ヘラミガキ。 内面：口縁部上櫛描波状文。口縁部下ヘラミガキ。頸部ヨコナデ。体部ユビオサエ、ハケ(7～9条/㎝)。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 口縁部内面煤付着。 円形浮文(2個1対) 4ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～7.0㎜	外面：7.5YR4/3褐。 内面：7.5YR2/1黒。

掲載番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量(口径)	法量(頸部径)	法量(最大径)	法量(器高)	法量(底径)	法量(高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
92	弥生土器	壺	1区	SR1002		(6.8)	(19.4)	(17.3)	(5.6)		全体の1/3	外面：頸部ハケ(14条/㎝)。体部上ハケ(14条/㎝)のちヘラミガキ(幅3㎜)。体部中ヘラミガキ(幅3㎜)。体部下ヘラケズリのちナデ。 内面：頸部ナデ。体部上ユビオサエ、接合痕あり。体部中ハケ(6条/㎝)。体部下板ナデ。	密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.0㎜	外面：10YR6/3にぶい黄橙。 内面：10YR5/3にぶい黄褐。
93	弥生土器	壺	1区	SR1002			15.4	10.8	4.4		全体の1/4	外面：体部ヘラミガキ(幅約3㎜)。底部ナデ。 内面：体部上ユビオサエ。体部下板ナデ。	焼成：やや不良。密度：良。 一部合成。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~5.0㎜	外面：5YR5/4にぶい赤褐。 内面：7.5YR5/1褐灰。
94	弥生土器	[illegible]	1区	SR1002				(5.0)	(7.8)		全体の2/3	外面：体部下ハケ(13条/㎝)のちヘラミガキ(幅3㎜)。 内面：ヘラケズリ、ユビナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 体部～底部外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~2.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：2.5Y5/3黄褐。
95	弥生土器	[illegible]	1区	SR1002				(2.8)	(6.0)		底部1/2	外面：体部下摩滅のため僅かにハケ(10条/㎝)の痕跡あり。底部ナデ。 内面：板ナデ(幅1.6㎝)	密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母、黒色斑粒 法量：0.1~5.0㎜	外面：10YR5/3にぶい黄褐。 内面：10YR5/4にぶい黄褐。
96	弥生土器	甕	1区	SR1002	(26.4)	(13.0)	(20.6)	25.1	4.9		全体の1/2	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部タタキ(3条/㎝)のちハケ(4条/㎝)、のちナデ。底部ナデ。 内面：口縁部、頸部ハケ(6条/㎝)。体部ヘラケズリ。底部ユビナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面煤付着。 焼成後にφ3㎜の穿孔あり(外→内)。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.0㎜	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：5YR5/6明赤褐。
97	弥生土器	甕	1区	SR1002	10.4	9.0	11.4	(11.9)	4.1		全体の1/2	外面：口縁部、頸部ヘラミガキ(幅2~3㎜)のちヨコナデ。体部ヘラミガキ(幅2~3㎜)。 内面：口縁部ヘラミガキ(幅2㎜)。体部ユビオサエ、ユビナデのちヘラミガキ(幅3~4㎜)。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面黒斑あり。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~1.0㎜	外面：10YR6/4にぶい黄橙。 内面：10YR6/4にぶい黄橙。
98	弥生土器	甕	1区	SR1002	(10.3)	(8.7)		8.3	3.6		全体の1/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部ハケ(6条/㎝)。底部ナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。体部、底部板ナデ(幅1.2㎝)。	焼成：やや不良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR5/6明赤褐。
99	弥生土器	甕	1区	SR1002	15.7	13.5	19.6	(12.8)			口縁部~体部上4/5	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部上タタキ(5条/2㎝)のちハケ(5条/㎝)。 内面：口縁部ヨコナデ、頸部ユビオサエのち板ナデ。体部ユビオサエのち板ナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~7.0㎜	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：10YR6/4にぶい黄橙。
100	弥生土器	甕	1区	SR1002	(16.6)	(13.6)		(9.8)			全体の1/6	外面：口縁部、頸部ユビオサエのち板ナデ。体部タタキのちハケ(5条/㎝)。 内面：口縁部、頸部板ナデ。体部上ユビオサエのちヘラケズリ。体部下ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 体部外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~2.8㎜	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：7.5YR5/4にぶい褐。
101	弥生土器	甕	1区	SR1002	17.7			(4.2)			口縁部完形	外面：口縁部ヨコナデ。頸部、体部ハケ(6条/㎝)。 内面：口縁部ヨコナデ、頸部ハケ。体部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.5㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：10YR5/3にぶい黄褐。
102	弥生土器	甕	1区	SR1002	(18.0)	(15.0)	(18.6)	(4.9)			口縁部1/6	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部摩滅のため調整不明。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部摩滅のため調整不明。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 体部外面の一部、口縁部内面の一部煤付着。	石英、赤色斑粒 法量：0.1~2.0㎜	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
103	弥生土器	甕	1区	SR1002	15.1	11.6		3.4			口縁部1/2	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部タタキ(3条/㎝)。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部板ナデ。	焼成：やや不良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.5㎜	外面：5YR6/4にぶい橙。 内面：5YR6/4にぶい橙。
104	弥生土器	甕	1区	SR1002	(15.8)	(13.0)	(16.5)	(4.5)			口縁部1/3	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部摩滅のため調整不明。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部摩滅のため調整不明。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1~7.0㎜	外面：7.5YR7/6橙。 内面：7.5YR7/6橙。
105	弥生土器	鉢	1区	SR1002	(18.8)	(17.1)	(17.65)	(12.1)			全体の1/3	外面：口縁部、頸部ユビオサエのちナデ。体部ナデ。 内面：口縁部、頸部、体部上ナデ。体部下ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 一部合成。 口縁部穿孔1ヶ所あり(内→外)。 体部外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~5.5㎜	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：5YR5/6明赤褐。

掲載番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量（口径）	法量（頸径・胴径）	法量（最大径）	法量（器高）	法量（底径）	法量（高台高）	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
106	弥生土器	甕	1区	SR1002				(20.7)	5.1		体部～底部1/3	外面：体部タタキ(5条/3.4cm) のちハケ(7条/cm)。底部ナデ。 内面：体部下ヘラケズリ。底部ヘラケズリ、ユビオサエ。	焼成：良。 一部反転復元。 一部合成。 外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～6.0mm	外面：10YR5/3にぶい黄褐。 内面：10YR6/3にぶい黄橙。
107	弥生土器	甕	1区	SR1002				(11.4)	5.4		底部1/3	外面：体部タタキ(5条/2.7cm) のちハケ(7条/cm)。 内面：ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良 反転復元。 外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/6橙。
108	弥生土器	甕	1区	SR1002				(4.7)	3.1		底部完形	外面：体部摩滅のため調整不明瞭。 内面：体部下ユビナデ。	焼成：不良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～7.6mm	外面：5YR6/8橙。 内面：2.5Y5/2暗灰黄。
109	弥生土器	甕	1区	SR1002				(5.6)	5.4		底部完形	外面：体部下ヘラミガキ。 内面：体部下ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 底部外面煤付着。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：7.5YR5/4にぶい褐。 内面：7.5YR5/4にぶい褐。
110	弥生土器	甕	1区	SR1002				(5.9)	5.7		底部完形	外面：体部ヘラミガキ（幅3～5mm）。体部下ユビオサエ。 内面：体部下板ナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～6.0mm	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：5YR6/6橙。
111	弥生土器	甕	1区	SR1002				3.2	5.6		全体の1/10	外面：体部下板ナデ。底部ナデ。 内面：底部ユビオサエのちナデ。	焼成：やや不良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～6.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：10YR6/4にぶい黄橙。
112	弥生土器	甕?	1区	SR1002				(3.2)	5.1		底部完形	外面：体部下ハケ(13条/cm)。底部ナデ。 内面：底部板ナデ（幅1.6cm）。	焼成：やや不良。密度：良。 一部反転復元。 外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：10YR6/4にぶい黄橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
113	弥生土器	高杯	1区	SR1002	(29.8)		(30.6)	(6.2)			口縁部のみ2/3	外面：口縁部ヨコナデ。杯部上ヘラミガキ（幅2.5mm）。杯部下ヘラミガキ（幅3mm）。 内面：口縁部ヨコナデ。杯部上ヘラミガキ（幅3.8mm）。杯部下ヘラミガキ（幅3mm）。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 口縁部外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～6.5mm	外面：5YR7/6橙。 内面：5YR7/6橙。
114	弥生土器	高杯	1区	SR1002	(28.8)			(5.9)			口縁部2/9	外面：口縁部ヨコナデ。杯部上ヘラミガキ。杯部下摩滅のため不明瞭。ヘラミガキの痕跡あり。 内面：口縁部ヨコナデ。杯部上ヘラミガキ。杯部下ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～1.0mm	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：5YR5/6明赤褐。
115	弥生土器	高杯	1区	SR1002	29.0			6.5			全体の1/8	外面：摩滅が著しく調整不明。 内面：ハケ(6～8条/cm) のちナデ（摩滅のため調整不明）。	焼成：不良。密度：良。 反転復元。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～2.0mm	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。
116	弥生土器	高杯	1区	SR1002	(24.5)			(3.9)			全体の1/6	外面：口縁部ヨコナデ。杯部摩滅のため調整不明。 内面：杯部摩滅のため調整不明。	焼成：やや不良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。
117	弥生土器	高杯	1区	SR1002	(26.0)			(4.1)			全体の1/8	外面：口縁部ヨコナデ。杯部上ヘラミガキ（幅2.5mm）。杯部下ハケのちヘラミガキ（幅2.5mm）。 内面：口縁部、杯部上ヨコナデのちヘラミガキ（暗文）。杯部下ヨコナデのちヘラミガキ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～3.5mm	外面：10YR6/4にぶい黄橙。 内面：2.5Y3/1黒褐。
118	弥生土器	高杯	1区	SR1002	14.6			13.8	9.9		ほぼ完形	外面：口縁部ヨコナデ。杯部上ナデのちヘラミガキ（幅2mm）。杯部下ヘラミガキ（幅2mm）。脚部上ヘラミガキ（幅4mm）。脚部中摩滅のため調整不明瞭。ハケ。脚部下ナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。杯部上ヘラミガキ（摩滅）。杯部下ヘラミガキ（幅4mm）。脚部上絞り痕。脚部下ナデ。	焼成：良。密度：良。 一部合成。 透かし孔4ヶ所あり（外→内）。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：5YR6/6橙。 内面：2.5YR6/8橙。
119	弥生土器	高杯	1区	SR1003				9.6			脚部2/3	外面：脚部ヘラミガキ（幅約3mm）。 内面：脚部上ヘラケズリ。脚部下ヘラケズリのちハケ(8条/cm)。	焼成：良。密度：良。 一部合成。 透かし孔3ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～3.5mm	外面：7.5YR5/6明褐。 内面：7.5YR5/4にぶい褐。
120	弥生土器	高杯	1区	SR1002				(14.2)	9.4		脚部完形	外面：杯部下ヘラミガキ。脚部上ヘラミガキ。脚部下ヨコナデ。 内面：杯部下ナデ。脚部上絞り痕。脚部下ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、長石、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～2.0mm	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。
121	弥生土器	高杯	1区	SR1002					(17.1)		全体の1/2	外面：摩滅のため調整不明。 内面：摩滅のため調整不明。	焼成：やや不良。密度：粗。 反転復元。 透かし孔4ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～6.0mm	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。

掲載番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量(口径)	法量(頸径・胴径)	法量(最大径)	法量(器高)	法量(底径)	法量(高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
122	弥生土器	高杯	1区	SR1002				(3.9)			不明	外面：脚部ヘラミガキ（幅4㎜）、脚部下ヨコナデ、沈線1条。 内面：脚部ヘラケズリ、ハケのちナデ。	焼成：良。密度：良。 断面実測。 外面に線刻あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~3.0㎜	外面：7.5YR5/3にぶい褐。 内面：7.5YR4/3褐。
125	須恵器	杯身	1区	SR1002	(13.0)			(3.3)			口縁部1/5	外面：口縁部、体部上回転ナデ。体部下、底部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、長石 法量：0.1~1.5㎜	外面：N6/0灰。 内面：N6/0灰。
126	須恵器	杯身	1区	SR1002	13.4			(3.3)			口縁部～体部1/6	外面：口縁部、体部上回転ナデ。体部下、底部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、長石 法量：0.1~1.0㎜	外面：N6/6灰。 内面：N6/6灰。
127	弥生土器	壺	1区	SR1002	(19.2)	(12.2)	(32.2)	(29.8)			体部1/3	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ハケ(5条/㎝)。体部下タタキのちハケ(5条/㎝)のちヘラミガキ。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部ヨコナデのちハケ(5条/㎝)。体部ユビオサエ、ハケ(5条/㎝)のちヘラケズリ。	焼成：やや不良。密度：粗。 反転復元。 一部合成。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑粒 法量：0.1~7.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：2.5YR6/8橙。
128	弥生土器	壺	1区	SR1002	(21.4)			(7.0)			全体の1/3	外面：口縁部ヘラ山猫文、円形浮文(2個1対)。頸部ヨコナデ、ヘラミガキ（幅3㎜）、ヨコナデ、断面三角形突帯(2条)、棒状浮文(2本1対)。 内面：二線部ヨコナデ。頸部ヘラミガキ(幅3.5㎜)。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~7.0㎜	外面：7.5YR7/4にぶい橙。 内面：10YR7/4にぶい黄橙。
129	弥生土器	壺	1区	SR1002	19.4	9.6		12.7			頸部2/3	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ヘラミガキ(幅約3㎜)、体部上、木口刺突文。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部上ユビオサエのちユビナデ。頸部下ユビオサエ、接合痕あり。体部上ユビオサエ。	焼成：不良。密度：粗。 一部反転復元。 一部合成。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~5.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR5/6明赤褐。
130	弥生土器	壺	1区	SR1002	20.2	10.2		(13.5)			口縁部4/5	外面：口縁部ユビオサエのちヨコナデ。頸部上ユビオサエのちハケ(7条/㎝)。頸部下ハケ(7条/㎝)。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部ユビオサエのちハケ(12条/1.8㎝)、(5条/㎝)のちヘラミガキ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~9.0㎜	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：5YR6/6橙。
131	弥生土器	壺	1区	SR1002	19.0	5.9		(9.6)			口縁部ほぼ完形	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ハケ(7条/1.5㎝)。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部ユビオサエのちナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、赤色斑粒、黒雲母 法量：0.1~5.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR5/6明赤褐。
132	弥生土器	壺	1区	SR1002	13.0	10.0	13.6	(6.6)			口縁部5/6	外面：ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.7㎜	外面：5YR7/6橙。 内面：5YR7/6橙。
133	弥生土器	壺	1区	SR1002		(11.0)		(10.6)			頸部1/5	外面：頸部ナデ、貼付突帯3条。体部上ヘラミガキ（幅4㎜）。 内面：頸部上板ナデ（幅1.5㎝）。頸部下、体部上ユビオサエのちナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~2.0㎜	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR5/4にぶい褐。
134	弥生土器	壺	1区	SR1002	8.4	8.35	11.2	(5.5)			二線部～体部1/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部上ヨコナデのちヘラミガキ（幅2～3㎜）。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ユビオサエ、ユビナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 透し孔あり(1ヶ所わずかに残る)。 外面黒斑あり。 外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~3.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。
135	弥生土器	壺	1区	SR1002	(8.4)	(7.7)	(14.2)	(11.7)			全体の1/2	外面：二線部、頸部ヨコナデ。体部ヘラミガキ（幅3㎜）。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.0㎜	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
136	弥生土器	壺	1区	SR1002			15.2	14.3			体部1/3	外面：体部ヘラミガキ（幅3～4㎜）。 内面：体部上剥離のため調整不明。体部中ヘラケズリ。体部下ヘラケズリのち板ナデ。	焼成：やや不良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.0㎜	外面：10YR5/2灰黄褐。 内面：10YR4/1褐灰。
137	弥生土器	壺	1区	SR1002			(28.0)	(28.4)	9.6		全体の2/3	外面：体部ハケ(7条/㎝)。底部ナデ。 内面：体部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 体部～底部外面黒斑あり。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~7.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：2.5Y5/1黄灰。

掲載番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量（口径）	法量（頸径·胴径）	法量（最大径）	法量（器高）	法量（底径）	法量（高台高）	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
138	弥生土器	壺	1区	SR1002			(23.2)	(16.0)	5.3		全体の2/3	外面：体部タタキ(3条／cm) のちハケのちヘラミガキ（幅2mm)。底部ナデ。 内面：体部上ナデ。体部下ハケ(13条／cm)。底部ユビオサエ、ユビナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.4mm	外面：7.5YR5/4にぶい褐。 内面：7.5YR5/3にぶい褐。
139	弥生土器	壺	1区	SR1002				(5.2)	(7.6)		底部1/2	外面：体部ハケ(7条／cm) のちナデ。底部ナデ。 内面：ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 内面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~7.0mm	外面：5YR6/6橙。 内面：10YR4/1褐灰。
140	弥生土器	壺	1区	SR1002				(8.7)	6.8		全体の3/4	外面：体部下タタキ(3条／cm) のちハケ(8条／cm)。底部タタキ(3条／cm) のちナデ。 内面：体部下ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~6.0mm	外面：10YR5/2灰黄褐。 内面：10YR6/3にぶい黄橙。
141	弥生土器	甕	1区	SR1002	14.2	11.6	15.1	18.0	5.4		全体の3/5	外面：口縁部ヨコナデ。体部、底部タタキ(2条／cm) のちナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部、体部上ヘラケズリのちナデ。体部下ヘラケズリ。底部ユビオサエのちナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：7.5YR5/4にぶい褐。 内面：5YR6/4にぶい橙。
142	弥生土器	甕	1区	SR1002	11.9	9.6	12.9	15.5	4.3		全体の1/2	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部タタキ(4条/1.4cm) のち板ナデ。底部ナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部ユビオサエのちナデ。体部、底部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~9.0mm	外面：7.5YR5/4にぶい褐。 内面：7.5YR5/4にぶい褐。
143	弥生土器	甕	1区	SR1002	(19.8)	(15.9)		(3.7)			全体の1/5	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ユビオサエ、ユビナデ。体部ハケ(13条／cm)。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部摩滅のため調整不明。ヘラケズリの痕跡あり。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~9.0mm	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：7.5YR6/6橙。
144	弥生土器	甕	1区	SR1002	(16.3)			(4.4)			口縁部1/2	外面：口縁部ヨコナデ。頸部、体部ハケ(8条／cm)。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：10YR6/4にぶい黄橙。 内面：10YR6/4にぶい黄橙。
145	弥生土器	甕	1区	SR1002	(16.6)	(13.6)		(4.6)			口縁部のみ1/4	外面：口縁部ヨコナデ。頸部、体部ハケ(6条／cm)。 内面：口縁部ヨコナデのちハケ(6条／cm)。頸部ヨコナデ。体部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 外面の一部煤付着。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1~6.0mm	外面：10YR7/2にぶい黄橙。 内面：10YR8/2灰白。
146	弥生土器	甕	1区	SR1002	16.9	13.7		(6.2)			口縁部1/5	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部摩滅のため調整不明。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部板ナデ。	焼成：やや不良。密度：粗。 反転復元。 口縁部外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：7.5YR6/6橙。
147	弥生土器	甕	1区	SR1002	(13.0)	(12.4)	(15.4)	(6.5)			口縁部1/4	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部タタキのちハケ。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 頸部内面に工具痕？あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~2.3mm	外面：5YR7/6橙。 内面：5YR7/6橙。
148	弥生土器	鉢	1区	SR1002	(13.0)	(12.2)		(10.5)			口縁部1/4	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部板ナデのちハケ。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部板ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 体部内外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.5mm	外面：5YR7/6橙。 内面：5YR7/6橙。
149	弥生土器	甕	1区	SR1002	14.6	11.4		(8.4)			口縁部1/2	外面：口縁部、頸部、体部ヨコナデ。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 口縁部外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：7.5YR5/4にぶい褐。 内面：7.5YR5/4にぶい褐。
150	弥生土器	甕	1区	SR1002	(14.6)	(12.8)		(5.6)			口縁部2/5	外面：口縁部、頸部、体部ヨコナデ。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.5mm	外面：2.5YR6/8橙。 内面：5YR6/8橙。
151	弥生土器	甕	1区	SR1002	14.3	12.0		(7.7)			口縁部1/2	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ハケ(6条／cm)。体部タタキ(3条／cm) のちハケ(6条／cm)、(13条／cm)。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部上板ナデ。体部下ヘラケズリ（幅1.8cm)。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~5.0mm	外面：7.5YR7/6橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
152	弥生土器	甕	1区	SR1002	13.8	11.3		(8.8)			全体の2/3	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部タタキ(3条／cm) のちハケ(9条／cm)。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.0mm	外面：7.5YR5/3にぶい褐。 内面：7.5YR5/3にぶい褐。
153	弥生土器	鉢	1区	SR1002	14.6	11.7		(4.0)			全体の5/6	外面：口縁部ヨコナデ。頸部、体部ハケ(7条／cm)。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部ヨコナデのちハケ(7条/cm)。体部ユビオサエ、ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面口縁部~体部と内面口縁部煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~7.6mm	外面：2.5YR5/6明赤褐。 内面：7.5YR6/6橙。

掲載番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量(口径)	法量(脚径・底径)	法量(最大径)	法量(器高)	法量(底径)	法量(高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
154	弥生土器	甕	1区	SR1002				(4.2)	7.0		底部完形	外面：体部ハケ。底部ハケのちナデ。 内面：体部板ナデ。底部ユビナデ。	焼成：良。密度：良。 内外面煤付着。	石英、長石、結晶片岩 法量：0.1～5.6mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。
155	弥生土器	甕	1区	SR1002			19.8	(18.3)	4.8		体部～底部1/3	外面：体部ハケ(7条／cm)。底部ヘラケズリ。 内面：ヘラケズリ。	密度：良。 一部反転復元、合成。 外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～5.0mm	外面：10YR4/2灰黄褐。 内面：10YR4/2灰黄褐。
156	弥生土器	鉢	1区	SR1002	(13.1)			8.1	4.3		全体の1/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部摩滅のため調整不明。底部ユビオサエ、ナデ。 内面：口縁部、体部ヨコナデ。体部下板ナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.0mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
157	弥生土器	鉢	1区	SR1002	15.2			6.7	4.9		全体の2/3	外面：口縁部ヨコナデ。体部上ハケ(12条／cm)のちヘラミガキ(幅2～5mm)。体部下ヘラミガキ。底部ナデ。 内面：口縁部、体部下板ナデ。底部ユビオサエ。	焼成：やや不良。密度：良。 一部反転復元。 外面の一部黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～7.0mm	外面：5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
158	弥生土器	鉢	1区	SR1002				(5.7)	5.2		底部完形	外面：体部下タタキのちハケ。底部ナデのちユビオサエ。 内面：体部下ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 内面煤付着。 底面穿孔あり（外→内）。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～2.0mm	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：2.5Y3/1黒褐。
159	弥生土器	高杯	1区	SR1002	(17.3)			11.8	(11.6)		全体の3/5	外面：口縁部ヨコナデ。口縁部下沈線1条。杯部上ヘラミガキ(幅1mm)。杯部下摩滅のため調整不明瞭。脚部上ヘラミガキ(幅3mm)。脚部下ヨコナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。杯部下ヘラミガキ(幅3mm)。脚部上ヘラケズリ。脚部下ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 透かし孔3ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～3.0mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/6橙。
160	弥生土器	高杯	1区	SR1002	15.7			12.7	12.0	7.7	全体の2/3	外面：口縁部ヨコナデ。杯部ヘラミガキ(幅3～5mm)。脚接合部ナデ。脚部上ヘラミガキ(幅1.5～2mm)。脚部下ナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。杯部摩滅のため不明瞭。僅かにヘラミガキの痕跡あり。脚部上ヘラケズリ。脚部下板ナデ。	焼成：良。 一部反転復元。 透かし孔4ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～3.0mm	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。
161	弥生土器	高杯	1区	SR1002	(14.5)			(11.7)	(11.7)		全体の1/2	外面：口縁部ヨコナデ。杯部上沈線1条。ヘラミガキ(幅3mm)。脚部上ヘラミガキ(幅3mm)。脚部下ナデ。 内面：杯部ヘラミガキ(幅3mm)。脚部上ユビナデのちヘラケズリ。脚部下ナデ。	焼成：良。密度：密。 反転復元。 一部合成。 口縁部外面黒斑あり。 透かし孔4ヶ所あり（外→内）。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.6mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：5YR6/6橙。
162	弥生土器	高杯	1区	SR1002	(34.6)			(5.7)			全体の1/9	外面：口縁部ヨコナデ。杯部摩滅のため調整不明。 内面：口縁部ヨコナデ。杯部摩滅のため調整不明瞭。ヘラミガキの痕跡あり。	密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～6.0mm	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：2.5YR5/6明赤褐。
163	弥生土器	高杯	1区	SR1002	(29.4)			(5.0)			全体の1/3	外面：口縁部ヨコナデ。杯部上ヘラミガキ(幅2mm)。杯部下ハケのちヘラミガキ(幅2mm)。 内面：口縁部ヨコナデ。杯部上ヨコナデのちヘラミガキ(幅2mm)。杯部下板ナデのちヘラミガキ(幅2mm)。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～4.6mm	外面：5YR5/4にぶい赤褐。 内面：5YR6/4にぶい橙。
164	弥生土器	高杯	1区	SR1002	29.2			(5.1)			口縁部1/4	外面：口縁部ヨコナデ。杯部上ヨコナデのちヘラミガキ(幅2mm)。杯部下ハケ(4条/0.6cm)のちヘラミガキ(幅1～2mm)。 内面：口縁部ヨコナデ。杯部上ヨコナデのちヘラミガキ(幅1～2mm)。杯部下ナデのちハケ(4条/0.6cm)。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～3.0mm	外面：5YR6/6橙。 内面：10YR6/4にぶい黄橙。
165	弥生土器	高杯	1区	SR1002	(23.6)			(4.3)			口縁部1/4	外面：ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～8.0mm	外面：5YR7/4にぶい橙。 内面：10YR6/3にぶい黄橙。
166	弥生土器	高杯	1区	SR1002	23.2			(8.2)			杯部ほぼ完形	外面：口縁部ヨコナデ。杯部上ヘラミガキ。杯部下摩滅のため調整不明。 内面：口縁部、杯部上ヘラミガキ。杯部下摩滅のため調整不明。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～7.0mm	外面：5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。

掲載番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量(口径)	法量(頸径・胴径)	法量(最大径)	法量(器高)	法量(底径)	法量(高台高)	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
167	弥生土器	高杯	1区	SR1002	20.8			(6.2)			全体の3/4	外面：口縁部ヨコナデ。杯部下ヘラミガキ（幅3㎜）。 内面：口縁部ユビオサエのちヨコナデ。杯部ヘラミガキ（幅5㎜）。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、褐雲母 法量：0.1～3.2㎜	外面：5YR6/4にぶい橙。 内面：5YR6/6橙。
168	弥生土器	高杯	1区	SR1002	(18.0)			(6.5)			全体の3/3	外面：口縁部ヨコナデ。杯部上ヘラミガキ。杯部下ハケのちヘラミガキ。 内面：口縁部、杯部上ヘラミガキ。杯部下摩滅のため調整不明。	焼成：良。密度：良。	石英、赤色斑粒、褐雲母 法量：0.1～3.5㎜	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：10YR5/4にぶい黄褐。
169	弥生土器	高杯	1区	SR1002				10.0	18.5		全体の1/3	外面：杯部ナデ。脚部上ハケ(6条／㎝)のちヘラミガキ。脚部下ヨコナデ。 内面：杯部下ハケ(6条／㎝)のちヘラミガキ。脚部上ユビオサエのちユビナデ。脚部下ハケ(6条／㎝)。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 透かし孔3ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、褐雲母 法量：0.1～5.0㎜	外面：10YR6/3にぶい黄橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
170	弥生土器	高杯	1区	SR1002				(11.0)	17.35		脚部9/10	外面：杯部、脚部上ヘラミガキ（幅2.5㎜）。脚部下ヘラミガキのちヨコナデ。沈線1条。 内面：杯部ナデ。脚部上ハケ(5条／㎝)。脚部下ハケのちヨコナデ。	焼成：良。密度：良。 底部外面の一部黒斑付着。 透かし孔4ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、褐雲母 法量：0.1～6.0㎜	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/3にぶい橙。
171	弥生土器	高杯	1区	SR1002				(10.1)	(10.3)		全体の1/2	外面：杯部、脚部上ヘラミガキ。脚部下ヨコナデ。 内面：杯部、脚部上ヘラケズリ。脚部下ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 透かし孔4ヶ所あり。	石英、赤色斑粒、褐雲母 法量：0.1～1.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。
172	弥生土器	高杯	1区	SR1002				(12.6)			全体の1/3	外面：杯部下、脚部上ヘラミガキ(幅4㎜)。 内面：杯部ヘラミガキ（幅4㎜）。脚部ヘラケズリのちナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、赤色斑粒、褐雲母、黒色斑粒 法量：0.1～3.0㎜	外面：5YR7/4にぶい橙。 内面：5YR7/6橙。
173	弥生土器	高杯	1区	SR1002				(4.7)	16.2		脚部2/5	外面：脚部ヘラミガキ（幅1～2㎜）。脚部下ヘラミガキ（幅1～2㎜）。沈線3条。 内面：脚部下ヨコナデのちハケ(10条/1.7㎝)	焼成：良。密度：良。 反転復元。 外面黒斑あり。 透かし孔4ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、褐雲母 法量：0.1～5.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。
174	弥生土器	高杯	1区	SR1002				7.5	14.8		全体の1/4	外面：脚部ハケ(8条／㎝)のちヘラミガキ（幅約3㎜）、沈線1条。 内面：脚部上絞り痕。脚部中ヘラケズリのちユビナデ。脚部下板ナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 透かし孔3ヶ所あり。	石英、赤色斑粒、褐雲母 法量：0.1～2.0㎜	外面：7.5YR5/3にぶい褐。 内面：7.5YR5/3にぶい褐。
175	弥生土器	高杯	1区	SR1002				(7.4)	13.8		脚部2/3	外面：杯部、脚部上ヘラミガキ（幅2～4㎜）。脚部下ヨコナデ。 内面：杯部下ヘラミガキ（幅3～4㎜）。脚部上ユビナデ。脚部中板ナデ。脚部下ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 一部合成。 透かし孔4ヶ所あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、褐雲母 法量：0.1～7.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。
176	弥生土器	高杯	1区	SR1002				(7.4)	(11.5)		脚部2/3	外面：杯部、脚部上ヘラミガキ。脚部下摩滅のため調整不明。 内面：杯部ナデ。脚部摩滅のため調整不明。	焼成：良。 反転復元。 透かし孔4ヶ所あり。	石英、結晶片岩、褐雲母 法量：0.1～6.0㎜	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：5YR6/6橙。
184	土師器	把手	1区	SR1002	長さ5.8	幅5.4	高さ6.5				把手のみ	外面：ナデのちユビオサエ。 内面：ナデ。	焼成：良。密度：良。	石英、赤色斑粒、褐雲母 法量：0.1～5.5㎜	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：7.5YR5/6明褐。
185	弥生土器	壺	1区	SR1002	17.3	8.4	20.5	(17.5)			口縁部～体部1/2	外面：口縁部ヨコナデ。頸部上ヘラミガキ（幅2～4㎜）。頸部下ハケ(7条／㎝)のち貼付突帯。体部上ハケ(7条／㎝)。体部下ヘラミガキ（幅2～3.5㎜）。 内面：口縁部ヨコナデ。頸部板ナデ。体部ユビオサエ、ユビナデのち板ナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、褐雲母 法量：0.1～2.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。
186	弥生土器	壺	1区	SR1002	19.4	10.3		(10.1)			口縁部1/4	外面：口縁部ヨコナデ。頸部ハケ(6条／㎝)のちヘラミガキ（幅2.5～4㎜）。 内面：口縁部ナデ。頸部ヘラケズリ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 一部合成。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、褐雲母 法量：0.1～3.0㎜	外面：10YR5/4にぶい黄褐。 内面：5YR6/6橙。
187	弥生土器	壺	1区	SR1002		6.3	14.35	(17.6)	5.85		ほぼ完形	外面：頸部、体部上摩滅のため調整不明。体部下ヘラミガキ（幅4.5㎜）。底部ナデ。 内面：頸部ナデ。体部上ユビオサエ。体部下板ナデ。	密度：良。 底部穿孔あり。	石英、結晶片岩、赤色斑粒 法量：0.1～3.7㎜	外面：2.5Y8/3淡黄。 内面：2.5Y8/2灰白。
188	弥生土器	壺	1区	SR1002		(10.1)	(25.9)	(20.0)			全体の4/5	外面：頸部ヘラミガキ（幅4㎜）、ヨコナデ。体部タタキのちヘラミガキ（幅4㎜）。 内面：頸部、体部ユビオサエ、ユビナデ	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 頸部と体部を図上復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、褐雲母 法量：0.1～10.0㎜	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：7.5YR4/1褐灰。

掲載番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量（口径）	法量（頸部・胴部）	法量（最大径）	法量（器高）	法量（底径）	法量（高台高）	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
189	弥生土器	壺	1区	SR1002				(2.6)	7.7		底部1/2	外面：体部ハケ(9~10条／cm）のちヘラミガキ（幅3～4㎜)。底部ナデ。 内面：摩滅のため調整不明。僅かにヘラケズリの痕跡あり。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 外面黒斑あり。	石英、結晶片岩、赤色粗粒、絹雲母 法量：0.1~10㎜	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：7.5YR4/2灰褐。
190	弥生土器	鉢	1区	SR1002	18.4	13.8		2.9			口縁部2/3	外面：ヨコナデ。 内面：ヨコナデ。	焼成：やや不良。密度：祖。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~6.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。
191	弥生土器	鉢	1区	SR1002	(13.3)			4.7	3.7		全体の3/4	外面：口縁部ヨコナデ。体部ヘラミガキ。底部ナデ。 内面：口縁部ヨコナデ。体部ナ板ナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、長石、絹雲母 法量：0.1~3.5㎜	外面：5YR4/6赤褐。 内面：5YR4/6赤褐。
192	土師器	高杯	1区	SR1002				5.3	19.0		脚部1/3	外面：脚部上ヘラミガキ（幅1～3㎜)。脚部下ヨコナデ。 内面：脚部上板ナデのちナデ。脚部下ヨコナデ。	焼成：やや不良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~9.5㎜	外面：10YR6/3にぶい黄橙。 内面：10YR6/4にぶい黄橙。
193	弥生土器	高杯	1区	SR1002				(8.8)	(12.0)		全体の1/3	外面：杯部、脚部ハケのちヘラミガキ。脚部上沈線3条。脚部下沈線2条。 内面：杯部ヘラミガキ。脚部上ヘラケズリ。脚部下ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 透かし孔4ヶ所あり。 脚部内外面煤付着。	石英、長石、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~6.0㎜	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：5YR5/6明赤褐。
194	弥生土器	高杯	1区	SR1002				(8.2)	12.2	6.1	脚部2/3	外面：杯部ヘラミガキ（幅3㎜)。脚部ヘラミガキ（幅3㎜)。脚部下ヨコナデ。 内面：杯部摩滅のため不明。ヘラミガキの痕跡あり。脚部ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、長石、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1~6.0㎜	外面：5YR6/6橙。 内面：5YR6/6橙。
195	土製品	土錘	1区	SR1002	長さ3.3	幅2.3	高さ2.3	孔径0.35			完形	外面：ナデ。溝1状あり。	焼成：良。密度：精。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~1.4㎜	外面：7.5YR4/3褐。
196	土師質土器	鍋	2・3区	SR1004	(29.3)			(7.1)			口縁部1/9	外面：口縁部ヨコナデ。頸部、体部ハケ(5条／cm）のちナデ。 内面：頸部、体部板ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~4.5㎜	外面：10YR2/1黒。 内面：10YR6/4にぶい黄橙。
197	土師質土器	鍋	2・3区	SR1004	(27.8)			(7.7)			全体の1/9	外面：口縁部ヨコナデ。体部ユビオサエのち板ナデ（幅1.5cm)。 内面：口縁部ヨコナデ。体部板ナデ(幅1.5cm)。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~2.0㎜	外面：10YR7/2にぶい黄橙。 内面：10YR6/2灰黄褐。
198	土師質土器	鍋	2・3区	SR1004				(7.3)			不明	外面：口縁部ユビオサエ、ヨコナデ。体部ユビオサエ、ヨコナデのちハケ(3条／cm)。 内面：ヨコナデ。	焼成：良。密度：良。 内外面煤付着。	石英、長石、絹雲母、花崗岩 法量：0.1~5.5㎜	外面：10YR5/2灰黄褐。 内面：10YR3/1黒褐。
199	瓦器	椀	2・3区	SR1004				(3.4)	6.5	1.0	底部4/5	外面：体部ユビオサエのちヘラミガキ（幅3.5㎜)。底部、高台部ヨコナデ。貼付高台。 内面：ヘラミガキ（幅2～4㎜)。	焼成：やや不良。密度：良。 一部反転復元。	石英、長石、結晶片岩 法量：0.1~3.0㎜	外面：5Y3/1オリーブ黒。 内面：2.5Y6/1黄灰。
200	土師器	杯	2・3区	SR1004	(14.8)			3.5	(10.0)		全体の1/2	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラ切り。 内面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ナデ、ユビオサエ、漆付着。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1~3.0㎜	外面：7.5YR6/3にぶい褐。 内面：7.5YR6/3にぶい褐。
201	土師器	杯	2・3区	SR1004	(11.4)			2.65	7.9		全体の1/4	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラ切りのちナデ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~3.0㎜	外面：5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
202	土師器	皿	2・3区	SR1004	(9.6)		(10.4)	1.2	(7.0)		全体の1/4	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラ切り、板目圧痕。 内面：口縁部、体部回転ナデ、底部ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~1.0㎜	外面：7.5YR8/3浅黄橙。 内面：5YR8/3淡橙。
203	土師器	皿	2・3区	SR1004	(10.4)			(1.8)	(9.2)		全体の1/5	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラ切りのちナデ。 内面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ナデのちナデ。	焼成：良。密度：粗。 反転復元。	石英、結晶片岩、絹雲母 法量：0.1~1.0㎜	外面：10YR5/2灰黄褐。 内面：10YR5/2灰黄褐。
204	土師器	皿	2・3区	SR1004	(10.4)			1.9	(7.8)		全体の1/3	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラ切り。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	絹雲母 法量：0.1~1.0㎜	外面：5YR7/4にぶい橙。 内面：5YR7/3にぶい橙。
205	土師器	皿	2・3区	SR1004	9.8			1.1	8.1		ほぼ完形	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラ切りのちナデ、板目圧痕。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1~2.5㎜	外面：5YR5/6明赤褐。 内面：5YR6/6橙。

掲載番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量（口径）	法量（胴径・鍔径）	法量（最大径）	法量（器高）	法量（底径）	法量（高台高）	残存率	調整技法	特徴	含有物	色調
206	土師器	皿	2・3区	SR1004	(10.0)			1.6	(7.5)		全体の1/2	外面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ヘラ切りのちナデ。 内面：口縁部、体部回転ナデ。底部回転ナデのちナデ。	焼成：良。密度：精。 反転復元。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑粒、雲母 法量：0.1～4.5mm	外面：5YR6/6橙。 内面：7.5YR6/4にぶい橙。
207	土師器	高台付皿	2・3区	SR1004	9.6			2.9	(6.0)	1.8	高台部以外ほぼ完形	外面：口縁部、体部、底部回転ナデ。高台部ナデ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。	石英、絹雲母 法量：0.1～5.0mm	外面：7.5YR5/2灰褐。 内面：7.5YR5/2灰褐。
208	土師器	高台付皿	2・3区	SR1004				2.5	6.0	1.5	全体の2/3	外面：体部、底部回転ナデ。高台部ナデ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：精。 反転復元。 高台部外面煤付着。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～3.0mm	外面：5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR5/3にぶい褐。
209	土師器	高台付皿	2・3区	SR1004				2.7	8.2	1.7	底部1/2	外面：体部、底部回転ナデ。高台部ナデ。 内面：回転ナデ。	焼成：やや不良。密度：精。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～2.0mm	外面：5YR6/6橙（高台部—10YR7/2にぶい黄橙）。 内面：5YR6/6橙。
210	土師器	甕	2・3区	SR1004	(15.5)	(13.6)		(8.8)			全体の1/6	外面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ナデ(外面に羽状の煤付着により調整不明)。 内面：ヨコナデ。	焼成：良。密度：粗。 反転復元。 内外面煤付着。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑粒、絹雲母、砂粒 法量：0.1～4.0mm	外面：7.5YR6/4にぶい橙。 内面：7.5YR6/2灰褐。
211	黒色土器	坏	2・3区	SR1004	(15.5)			(3.1)			口縁部1/5	外面：回転ナデ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 黒色土器B類。	長石、絹雲母 法量：0.1～1.0mm	外面：N2/0黒。 内面：N2/0黒。
212	黒色土器	椀	2・3区	SR1004				(1.5)	7.2	0.8	底部完形	外面：ナデ。 内面：ヘラミガキ（幅0.3cm）	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 黒色土器B類。	石英、絹雲母 法量：0.1～1.0mm	外面：N3/0暗灰。 内面：N3/0暗灰。
213	黒色土器	椀	2・3区	SR1004				(3.1)	6.3	0.6	底部1/4	外面：体部回転ナデのちヘラミガキ（幅約2.5mm）。底部回転ヘラ切り。高台部回転ナデ。 内面：回転ナデのちヘラミガキ（幅2～4mm）。	焼成：良。密度：良。 反転復元。 黒色土器B類。	石英、絹雲母 法量：0.1～2.0mm	外面：N3/0暗灰。 内面：N2/0黒。
218	土師器	甕	2・3区	SR1004	(13.4)			(10.5)			口縁部1/4	外面：摩滅のため調整不明。 内面：口縁部、頸部ヨコナデ。体部ナデのちユビオサエ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、結晶片岩、赤色斑粒 法量：0.1～3.5mm	外面：5YR6/4にぶい橙。 内面：2.5Y5/1黄灰。
219	須恵器	杯蓋	2・3区	SR1004	14.1			(4.7)			全体の1/5	外面：口縁部、体部下回転ナデ。体部上、天井部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。 反転復元。	石英、長石 法量：0.1～2.0mm	外面：N6/0灰。 内面：N6/0灰。
220	須恵器	杯身	2・3区	SR1004				(2.1)			底部1/4	外面：体部回転ナデ。底部回転ヘラケズリ。 内面：回転ナデのちナデ。	焼成：良。密度：精。 底部外面にヘラ記号あり。	石英、長石、黒色斑粒 法量：0.1～3.0mm	外面：7.5Y6/1灰。 内面：7.5Y7/1灰白。
221	須恵器	杯身	2・3区	SR1004				(1.9)			全体の3/4	外面：回転ヘラケズリ。 内面：体部回転ナデ。底部回転ナデのちユビナデ。	焼成：やや不良。密度：良。 底部外面にヘラ記号あり。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑粒 法量：0.1～2.5mm	外面：5Y6/1灰。 内面：5Y7/1灰白。
222	須恵器	甕	2・3区	SR1004				(8.1)			不明	外面：回転ナデ、櫛描文。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：精。	石英、黒雲母、黒色斑粒 法量：0.1～2.0mm	外面：N3/0暗灰。 内面：10Y5/1灰。
223	土師器	高台付皿	2区	包含層	14.4			6.0	8.1	2.5	全体の9/10	外面：口縁部、体部、底部回転ナデ。高台部回転ナデ。 内面：回転ナデ。	焼成：良。密度：良。	石英、長石、結晶片岩、赤色斑粒 法量：0.1～6.8mm	外面：5YR7/6橙。 内面：5YR7/6橙。
224	陶器	椀	1区	包含層				2.3	5.0	1.1	底部1/2	外面：ロクロナデ。削り出し高台。 内面：ロクロナデ。模様あり。	焼成：良。密度：精。 一部反転復元。 内外面施釉あり。	結晶片岩、絹雲母 法量：0.1～1.0mm	外面：10YG6.5/3Sグレイみの黄緑。 内面：8Y6.5/3Sグレイみの黄。
225	土師器	ミニチュア土器	2区	包含層	(2.2)		(2.3)	1.4	1.9		全体の2/3	外面：ユビオサエ、ユビナデ。 内面：ユビオサエ。	焼成：良。密度：良。 一部反転復元。 外面黒斑あり。	石英、絹雲母 法量：0.1～1.5mm	外面：7.5YR6/6橙。 内面：2.5YR5/6明赤褐。
226	土製品	紡錘車	1区	包含層	長さ7.5	幅7.4	高さ3.8				ほぼ完形	外面：ユビオサエ。		石英、赤色斑粒、絹雲母 法量：0.1～1.5mm	外面：10YR6/4にぶい黄橙。 内面：10YR6/4にぶい黄橙。

第13表　南庄遺跡　石器・石製品観察表

掲載番号	名称	調査区	出土遺構	法量 長さ(cm)	法量 幅(cm)	法量 厚さ(cm)	法量 重さ(g)	石材	平面形態	欠損部位	備考
13	石庖丁	1区	SB1001	7.3	12.35	1.0	149.4	結晶片岩	平刃 単刃	完形	
14	石庖丁 (未製品)	1区	SB1001	12.8	6.3	1.9	165.4	結晶片岩			
15	石庖丁 (未製品)	1区	SB1001	6.8	10.8	1.9	92.4	結晶片岩	単刃		
16	石庖丁 (未製品)	1区	SB1001	8.1	6.1	0.8	49.8	結晶片岩			
17	砥石	1区	SB1001	(9.6)	(6.75)	(3.0)	(187.3)	砂岩		上側 右側 下側	被熱により変色
18	砥石	1区	SB1001	6.5	7.0	4.8	318.1	砂岩		右側 下側 左側	被熱により変色
19	台石	1区	SB1001	45.1	17.5	7.2	8.65kg	結晶片岩			
20	石核	1区	SB1001	48.1	27.05	7.4	15.5kg	結晶片岩			
21	石核	1区	SB1001	71.8	26.8	6.7	16.0kg	結晶片岩			
22	石核	1区	SB1001	36.7	24.9	5.7	8.8kg	結晶片岩			
23	石鏃	1区	SD1002	2.0	1.45	0.25	0.4	サヌカイト	凹基	完形	
24	スクレイパー	1区	SD1002	4.85	7.0	1.1	32.3	サヌカイト		完形	
25	凹石	1区	SD1002	10.9	8.7	5.45	703.3	結晶片岩		完形	
27	石鏃	1区	SD1003	3.0	2.0	0.55	2.7	サヌカイト	凸基	先端	
29	台石	1区	SD1008	44.7	20.7	4.3	5.53kg	結晶片岩			
64	石鏃	2区	SD1022	2.0	1.25	0.25	0.6	サヌカイト	凹基	完形	
77	砥石	2区	SP1049	7.5	3.9	4.6	121.0	滑石		完形	
83	打製石庖丁	1区	SR1002	5.0	9.5	0.5	41.0	結晶片岩	平刃 複刃	完形	
84	敲石	1区	SR1002	7.5	5.1	4.7	241.9	砂岩		上側	
85	敲石	1区	SR1002	23.2	6.15	4.0	846.0	結晶片岩		上側	
86	敲石	1区	SR1002	14.1	3.85	2.35	172.1	泥岩		下側	
123	磨製石庖丁	1区	SR1002	(5.2)	(12.8)	(0.65)	(76.0)	結晶片岩	凸刃		
124	石杵	1区	SR1002	13.0	7.35	8.75	1093.6	砂岩		上側	朱付着
177	石鏃	1区	SR1002	(3.5)	(1.9)	0.55	3.1	サヌカイト	凸基	基部	
178	石鏃	1区	SR1002	3.2	1.6	0.65	2.9	サヌカイト	有茎	完形	
179	打製石庖丁	1区	SR1002	6.0	18.7	1.8	231.2	結晶片岩	平刃 複刃	完形	
180	磨製石斧	1区	SR1002	10.8	5.0	1.9	201.8	砂質片岩?		完形	
181	砥石	1区	SR1002	14.15	6.35	5.0	742.1	砂岩		左側	
182	敲石	1区	SR1002	10.35	5.25	1.0	98.1	結晶片岩		完形	
183	敲石	1区	SR1002	13.3	7.1	4.2	669.0	石英		完形	赤色の付着物あり
227	敲石	1区	包含層 (R−18)	12.55	2.35	1.5	71.9	砂岩		完形	

第14表　南庄遺跡　鉄器・金属製品観察表

掲載番号	名称	調査区	出土遺構	法量 長さ(cm)	法量 幅(cm)	法量 厚さ(cm)	法量 重さ(g)	備考
66	釘	2区	SG1002EP1	6.1	1.25	1.6	17.2	
76	釘	2区	SP1030	(5.2)	(2.15)	(1.5)	(11.8)	
214	刀子	2区	SR1004	3.6	2.9	1.55	13.9	

第15表　南庄遺跡　木器・木製品観察表

掲載番号	分類	名称	調査区	出土遺構	法量 長さ(cm)	法量 幅(cm)	法量 厚さ(cm)	型式	木取り	表面の状態	特徴1 (残存部に関する情報)	特徴2 (形状に関する情報)	備考
215	祭祀具	斎串	2区	SR1004	19.7	1.2	0.25	CI	板目	やや滑らか	ほぼ完形	表裏両面を細かく削り成形。上端は丸く成形。	
216	祭祀具	斎串	2区	SR1004	(14.0)	1.25	0.25	C	板目	やや滑らか	上端部欠損。	下部先端を細く尖らせている。	
217	部材	板	2区	SR1004	(6.5)	2.1	0.45		板目	やや滑らか	上端部欠損。		

写 真 図 版

図版54

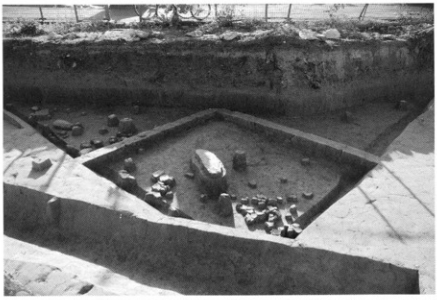
調査前風景

作業風景

1区（南側）完掘状況
（北から撮影）

図版55

1区（北側）完掘状況
（北から撮影）



1区　SB1001遺物出土状況
（東から撮影）

1区　SB1001完掘状況
（北から撮影）

1区　SD1002完掘状況
（南東から撮影）

1区　SD1011遺物出土状況

1区　SK1006遺物出土状況
（北東から撮影）

図版57

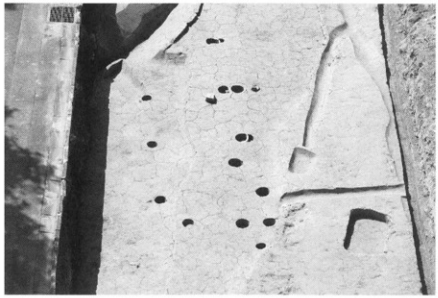
1区　SR1002土層堆積状況

1区　SR1002遺物出土状況

1区　SR1002石杵出土状況

1区　SR1002完掘状況
(北東から撮影)

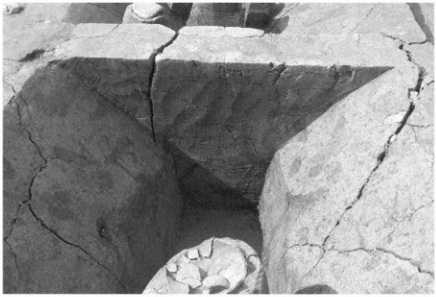
2区　完掘状況(北から撮影)



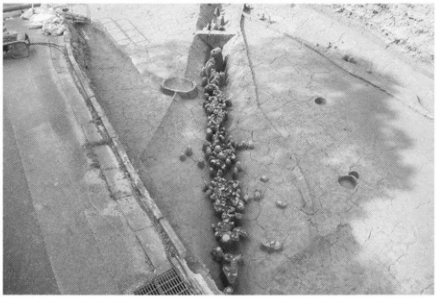
2区　SA1001完掘状況
(北から撮影)

図版59

2区　SD1002・1003完掘状況
（北西から撮影）



2区　SD1020土層堆積状況



2区　SD1020遺物出土状況
（北東から撮影）

2区　SG1001～1005完掘状況
（北から撮影）

2区　SK1026・1027完掘状況
（西から撮影）

2区　SR1004遺物出土状況①
（北から撮影）

図版61

2区　SR1004遺物出土状況②
（北から撮影）

3区　完掘状況（南から撮影）

3区　SA1004完掘状況
（北東から撮影）

3

4

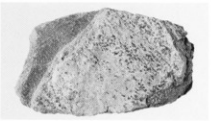
5

8

9

10

11



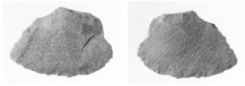
13

SB1001出土

出土遺物(1)

図版63

23



24

25

SD1002出土

26

27

SD1003出土

30

SD1011出土

31

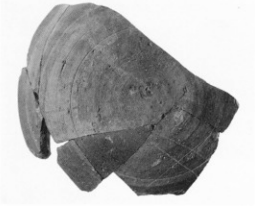
39

SD1020出土

出土遺物(2)

40

42



41

43

49

46

51

52

SD1020出土

出土遺物(3)

図版65

54

53

55

56

57

59

58

62

61

SD1020出土

出土遺物(4)

64

SD1022出土

70

SK1020出土

71

SK1026出土

66

SG1002出土

72

73

SK1027出土

76

SP1030出土

77

SP1049出土

78

79

SR1002A出土

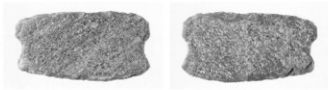
出土遺物(5)

図版67

80

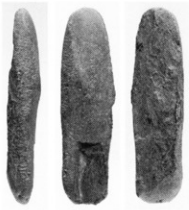
81

82



83

84



86

85

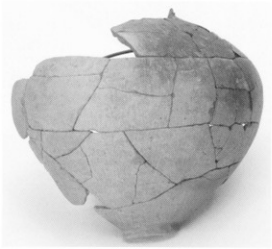
SR1002A出土

出土遺物(6)

87

90

91



92

96

SR1002B出土

出土遺物(7)

図版69

98

99

106

101

105

108

109

110

SR1002B出土
出土遺物(8)

112

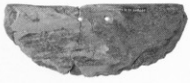
113

117

118

122

120



123

SR1002B出土

出土遺物(9)

図版71

124

SR1002B出土

126

127

130

131

SR1002C出土

出土遺物(10)

132

133

135

137

138

140

SR1002C出土

出土遺物(11)

図版73

141

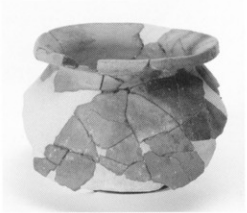
142

144

145

148

151



152

153

SR1002C 出土

出土遺物(12)